

## 外部有識者の所見を踏まえた概算要求への反映状況

反映状況	事業数	反映額 (百万円)
廃止	3 (3)	▲6 (▲162)
縮減	25 (18)	▲11,371 (▲5,546)
執行等改善	28 (39)	0 (0)
年度内に改善を検討	20 (-)	0 (-)
予定通り終了	34 (24)	0 (0)
現状通り	158 (125)	0 (0)
合計	268 (209)	▲11,377 (▲5,708)

※ ( ) 書きは昨年度の数

平成29年度外部有識者点検対象事業一覧

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
				現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	補助金における費用の適格性と冗費のチェックに努めつつ、引き続き適正な事業執行に努めたい。	
003-1	医政局	ドクターヘリの導入促進（統合補助金分）	継続した事業活動のもと、補助金における費用の適格性と冗費のチェックに努めてほしい。（井出 健二郎）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	補助金における費用の適格性と冗費のチェックに努めつつ、引き続き適正な事業執行に努めたい。	-
003-2	医政局	救急患者の受入体制の充実（統合補助金分）	本事業が154億円の内数となっており、全体154億円の中での本事業の位置づけと効果、および本事業の予算の適正性が点検されていないので、全体で再点検するか、本事業に絞った予算額を設定し、再点検することが望ましい。 一部の自治体において支出額が大きくなっていることから、本事業が対象とする費用について各自治体に認識の差がないか確認して頂きたい。医療提供体制推進促進事業の各事業と効率的・効果的に連携し目的達成する事業であり、改善の方向性として検討されているメディカルコントロール体制強化事業との統合等の見直しにつき、引き続き行って頂きたい。（栗原 美津枝）	事業内容の一部改善	本事業が対象とする費用について各自治体に認識の差がないか確認するとともに、改善の方向性として検討されているメディカルコントロール体制強化事業との統合等の見直しにつき、引き続き検討を行うこと。	現状通り	本事業の支出額については、人口規模や救急医療施設数などの違いにより、自治体間の差が生じているものであり、認識の差によるものではありません。また、事業の見直しについては、事業の実績等を踏まえ必要に応じて行っていきたい。	-
003-3	医政局	医療施設の設備整備の支援（統合補助金分）	予算が医療提供体制推進事業費の内数として示されており、当事業の予算及び執行率が不明である。 もう少し細かな予算管理が必要である。（長崎 武彦）	現状通り	外部有識者の所見を踏まえた上で、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	本事業は医療提供体制推進事業費補助金のメニューの一つとして実施しており、都道府県が地域の実情に応じて事業を実施するため、年度により活用都道府県数に変動がある。また、上記のような補助金であるため、予算額に各事業の内訳を設けていないことから、執行率も設けていない。 外部有識者の所見を踏まえ、引き続き、適正な執行となるよう、努めてまいりたい。	-
003-4	医政局	小児救急医療体制の充実	小児救急医療体制の充実を目的とした事業であり、地公体等に対する補助を行っている。アウトカム指標も高い達成率となっており、現状維持としたい。（増田 正志）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めたい。	-
003-5	医政局	共同利用型病院運営事業	二次医療体制が必要とされている一方、本補助金は4県利用にとどまり限定的かつ地域の偏りが見られる。 現在の記載状況では事業有効性が判断できない。 利用に偏りがある理由を記載するとともに、 ・内数追記により執行率の記載を行うこと。 ・アウトカムでは補助金活用非活用地域の差が見られるよう双方の数値を開示すること。 ・アウトプットに補助対象施設での二次医療受入れ患者数を追記すること。 など検討すること。また過去の行政事業レビュー指摘に対する対応内容を記載すること。（横田 響子）	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、利用に偏りがある理由を記載するとともに、アウトカム及びアウトプットへの項目の追記を検討すること。また、また過去の行政事業レビュー指摘に対する対応内容を記載すること。	年度内に改善を検討	二次救急医療体制については、都道府県が作成する医療計画に基づき、地域の実情に応じて、医療圏単位で圏域内の複数の病院が当番制により実施する病院群輪番制病院や、医療圏単位で拠点となる病院が一部を開放し地域の医師の協力を得て実施する共同利用型病院等の整備により体制の確保を図っているため、地域による偏りが見られるもの。アウトカム及びアウトプットへの項目の追記については、二次救急医療体制の現状を踏まえ検討していきたい。また、昨年の行政事業レビュー指摘を踏まえ、引き続き、二次救急医療体制を確保するため、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めたい。	-
003-6	医政局	救命救急センター運営事業	継続した事業活動のもと、補助金における費用の適格性と冗費のチェックに努めてほしい。（井出 健二郎）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	補助金における費用の適格性と冗費のチェックに努めつつ、引き続き適正な執行に努めたい。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
003-7	医政局	自動体外式除細動器（AED）普及啓発事業	本事業が154億円の内数となっており、全体154億円の中での本事業の位置づけと効果、および本事業の予算の適正性が点検されていないので、全体で再点検するか、本事業に絞った予算額と活動指標を設定し再点検することが望ましい。 成果と活動指標については、一般市民による除細動実施件数は成果（アウトカム）として捉えることができるのではないか、また活動指標としては協議会の開催回数や講習の実施回数等が設定されることがより適切ではないか。 また、14自治体に限られていることから、本事業の目的と対象自治体の関連性について検討することが望ましい。（栗原 美津枝）	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、成果と活動指標については、一般市民による除細動実施件数は成果（アウトカム）として捉えることができるのではないか検討すること。また、活動指標として、協議会の開催回数や講習の実施回数等が設定できないか検討すること。さらに、14自治体に限られていることから、本事業の目的と対象自治体の関連性について検討を行うこと。	年度内に改善を検討	成果と活動指標については、一般市民による除細動実施件数は成果（アウトカム）として捉えることができるか検討したい。また、活動指標として、協議会の開催回数や講習の実施回数等が設定できるか検討したい。さらに、本事業の目的と対象自治体の関連性について検討したい。	-
003-8	医政局	周産期医療体制の確保	事業番号003-3に同じく内数としてではなく、当事業の予算及び執行率を明らかにする必要がある。 少子化の現下においては有用な事業であると史料される。（長崎 武彦）	現状通り	外部有識者の所見を踏まえた上で、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	本事業は医療提供体制推進事業費補助金のメニューの一つとして実施しており、都道府県が地域の実情に応じて事業を実施するため、年度により活用都道府県数に変動がある。また、上記のような補助金であるため、予算額に各事業の内訳を設けていないことから、執行率も設けていない。 外部有識者の所見を踏まえ、引き続き、適正な執行となるよう、努めてまいりたい。	-
003-9	医政局	院内感染地域支援ネットワーク相談事業	院内感染対策を目的とする事業であり、全体事業の一部を構成している。執行額7百万円ではあるが、一定の成果が認められ、現状維持としたい。（増田 正志）	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き適切な額の予算を確保し、適切な執行に努めていきたい。	-
003-10	医政局	医療連携体制推進事業	補助金活用事業の内訳等を記載することで事業の有効活用の見える化をはかり、適正な事業の執行に努めること。具体的に以下、検討をお願いしたい。 ・内数追記により執行率を記載すること。 ・アウトプットにおいて、80件の支出事業種別を追記すること。 ・事業支出先の競争性を担保すること。（随意契約が適しているのか要判断）（横田 響子）	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、アウトプットの見直し等を行った上で、適正な執行に努めること。	年度内に改善を検討	アウトプットの見直し等を検討し、適正な執行に努めていきたい。	-
003-11	医政局	歯科医療安全管理体制推進特別事業	今後とも着実な執行をお願いしたい。（井出 健二郎）	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めて参りたい。	-
003-12	医政局	救急患者退院コーディネーター事業	本事業が154億円の内数となっており、全体154億円の中での本事業の位置づけと効果、および本事業の予算の適正性が点検されていないので、全体で再点検するか、本事業に絞った予算額を設定し再点検することが望ましい。 また、12自治体に限られており、かつ対象医療機関数も差があることから、本事業の目的に照らして対象自治体（および医療機関数）がどうあるべきかについて検討することが望ましい。（栗原 美津枝）	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、本事業の執行額が妥当であるか、また、目的に照らして対象自治体（および医療機関数）がどうあるべきかについて検討すること。	現状通り	本事業の目的と対象自治体の関連性について検討するとともに、執行額の妥当性についても検討していきたい。	-
003-13	医政局	N I C U等からの退院の促進	活動実績は当初指標を上回っており、事業実績は評価できる。（長崎 武彦）	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き必要な額の予算を確保し、適切な執行に努めていきたい。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
003-14	医政局	外国人看護師候補者就労研修支援事業	外国人看護師を確保するための日本語能力の習得と、看護師試験の合格に向けた研修を目的としており、アウトカム指標の達成率も高く、現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	外部有識者の所見も踏まえ、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。	-
003-15	医政局	看護職員就業相談員派遣面接相談事業	看護師不足の地域差を見える化するとともに、活用都道府県看護師不足の地域差を見える化すること。また、活用都道府県が減少傾向にあるため事業の有効性を示すとともに使い勝手について検証を行うこと。 ・内数追記により執行率を記載すること。 ・アウトカムでは、求人充足状況を事業活用有無で比較するなど工夫が必要であること。 ・関連事業に、看護師不足を補う他事業を追記すること。 県が減少傾向にあるため事業の有効性を示すとともに使い勝手について検証を行うこと。(横田 響子)	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、レビューシートの記載内容を見直すとともに、看護師不足の地域差を見える化すること。また、活用都道府県が減少傾向にあるため事業の有効性を示すとともに使い勝手について検証を行うこと。	現状通り	本事業は医療提供体制推進事業費補助金のメニューの一つとして実施しており、都道府県が地域の実情に応じて事業を実施するため、年度により活用都道府県数に変動がある。また、上記のような補助金であるため、予算額に各事業の内訳を設けていないことから、執行率も設けていない。 外部有識者の所見を踏まえ、引き続き、適正な執行となるよう、努めてまいりたい。	-
008	医政局	災害時における医療提供体制の確保	執行率がここ数年100%を超過している。見積もり判断は難しいが、100%執行に向けた予算計上を考慮するべきではないか。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、ここ数年、執行率が100%を超過しているため、100%執行に向けた予算計上を検討すること。	執行等改善	平成30年度概算要求額を平成29年度予算額(374百万円)よりも30百万円増額して404百万円とした。	-
011	医政局	医療問題調査費	引き続き会議の効率的な開催に務めつつ、更なる予算見積もりと執行率の改善に取り組んで頂きたい。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	執行においては、引き続き、業務の効率化に努め、更なる執行率の改善に取り組む。また、予算要求に当たっては、新たな検討課題に取り組み、必要な予算額を確保することとしたい。	-
012	医政局	地域医療支援中央会議	少額予算による事業であること及び過去3年間開催実績のない会議であり、予算措置の必要性が認められない。(長崎 武彦)	廃止	外部有識者の所見を踏まえ、事業を廃止すること。	廃止	外部有識者の所見を踏まえ廃止することとした。	▲ 1
013	医政局	地域医療推進専門家養成事業	地域医療体制の構築を目的としているが、予算額僅少でこの事業のみで実効性を期待するのは難しく、他の類似事業との連携を以って判断すべきである。同事業の在り方を見直す必要がある。(増田 正志)	事業内容の一部改善	予算額僅少でこの事業のみで実効性を期待するのは難しく、他の類似事業との連携を以って判断すべきという外部有識者の所見を踏まえつつ、改善の方向性に記載のある通り、民間委託を含む新たな事業形態での養成を検討すること。	年度内に改善を検討	年度内に、民間委託を含む新たな事業形態での養成の手法を検討する。	-
025	医政局	臨床効果データベース整備事業	事業の有効性と必要性が判断できる数値を追記し、適正な事業執行を行うこと。 ・アウトカム: データ搭載されている症例件数が目標値をすでにクリアしている。目標の再設定が必要であること。 ・アウトプット: データベースが必要とされる診療領域とすでに構築済みのデータベースの数値を追記検討すること。 ・アウトプット: データベースの活用状況が判断できる数値を追加すること。 など、検討し対応すること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、アウトカム及びアウトプットの記載を見直すこと。	執行等改善	事業の有効性と必要性が判断できる目標を設定し、適正な事業執行に努めてまいりたい。	-
034	医政局	かかりつけ医普及促進事業	年度終了の事業を是認しながらも、執行率は低調であった。効果・成果を検証していただきたい。(井出 健二郎)	終了予定	外部有識者の所見を踏まえ、効果・成果を検証した上で、平成29年度をもって事業を終了すること。	予定通り終了	外部有識者の所見を踏まえ、効果・成果を検証した上で、予定通り廃止することとした。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
035	医政局	サミット関連経費	伊勢志摩サミットに対応した事業であり、適切に執行され、成果の達成も確認され、終了している。(栗原 美津枝)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。	予定通り終了	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了する。	-
036	医政局	歯科疾患実態調査費	事業の有用性は理解できる。(長崎 武彦)	終了予定	平成28年度事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって一旦終了すること。	予定通り終了	本事業は、5年ごとに実施することとしており、次回の実施は平成33年度を予定している。	-
043	医政局	学生実習国民向けPR経費	看護師不足を解消するための一方法として、PRを行うための経費を支出する事業であるが、予算額1百万円と僅少で当事業のみでのアウトカムを評価するのは難しい。他の事業との連携によって評価すべきであるが、当事業は現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。	-
046	医薬・生活衛生局	医薬・生活衛生局国家試験事業	受験者数推移を見極め 予算積算を適正に行い、引き続き競争性を保った事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。	-
047	医政局	看護師等学校養成所報告管理運用事業	今後も適切な予算見積もり、着実な執行をしていただきたい。次回調達時の競争性は記載通りしていただきたい。(井出 健二郎)	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、今後も適切な予算見積もり、着実な執行に努めること。また、次回調達時の競争性は記載通りに実施すること。	現状通り	今後も適切な予算見積もり、着実な執行に努めてまいりたい。また、次回調達時の競争性の確保についても努めてまいりたい。	-
051	医政局	医師需給見通しに関連した検討会	平成28年度より開始されており、平成28年度の執行は適切と思われるが、平成30年以降の対応を検討するための事業であり、今後の継続の必要性(毎年継続する必要性)、内容・規模・予算額については再度検討した上で実施すべき。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、今後の継続の必要性(毎年継続する必要性)、内容・規模・予算額について再度検討すること。	廃止	外部有識者の所見を踏まえ、今後の継続の必要性を検討した結果、廃止することとした。	-
054	医政局	医療関係者問題調査検討会等経費	過去の執行率から判断して予算は減額可能である。(長崎 武彦)	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算を縮減すること。	縮減	執行においては、引き続き、業務の効率化や職員のコスト意識の向上に努め、更なるコスト縮減に取り組むこととしたい。予算要求に当たっては、新たな政策課題に対する検討に伴うコスト増も勘案し予算額を精査することとしたい。なお、一部事業(看護の質の向上と確保に関する具体化検討会)については、過去の執行率を踏まえ予算を縮減することとした。	▲1
055	医政局	臨床研修関係システム運用経費	医師の臨床研修病院のプログラムをWEB上で情報提供する事業であり、平成28年度までの予算額40~45百万円に比べ、平成29年度が152百万円となっている。これは、平成29年度において歯科医師臨床研修募集情報システムとの統合が行われるためであり、従来の事業内容とは異なることから、より適正に執行されることを望む。(増田 正志)	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、平成29年度予算においては、より適正な執行に努めること。	現状通り	予算のより適正な執行に努めて参りたい。	-
062	医政局	臨床研修修了者アンケート調査費	アンケート回収率の向上に努め、引き続き適正な事業執行を行うこと。(横田 響子)	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、アンケート回収率の向上に努め、引き続き適正な事業執行を行うこと。	現状通り	アンケート回収率の向上に努め、引き続き適正な事業執行を行う。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
065	医政局	外国人看護師候補者学習支援事業	今後も適切な予算見積もり、着実な執行をお願いしたい。(井出 健二郎)	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、今後も適切な予算見積もり、着実な執行に努めること。	現状通り	今後も適切な予算見積もり、着実な執行に努めてまいりたい。	-
071	医政局	補聴器販売者の技能向上研修等経費	平成28年度より開始された事業であり、まずは研修の有効性を確認すること、そして今後の研修参加動向を把握しつつ、適切な執行に努めること。(栗原 美津枝)	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、まずは研修の有効性を確認すること、そして今後の研修参加動向を把握しつつ、適切な執行に努めること。	現状通り	引き続き、研修受講者数の増加を図りつつ、研修の有効性についても併せて確認し、適切な執行に努めてまいりたい。	-
072	医政局	医療情報セキュリティ等対策経費	事業実施の成果に注視したい。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	事業実施の成果を注視しつつ、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
073	医政局	医療情報システム等標準化推進事業	電子カルテで用いるコードの整備・維持管理業務であり、27年度のシステム構築が終わり、28年度以降はそれらの維持管理を行っている事業である。予算の執行率が高く、現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
076	政策統括官(統計・情報政策担当)	社会保障分野での情報化・情報連携の推進に関する経費	基盤整備状況の確認を行い平成30年度の目標達成に向け適正に執行を行うこと。 アウトカム箇所には、目標値(344)と達成度、平成28年度の実績を速やかに追記すること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	成果実績(アウトカム)については、未来投資戦略2017(6月9日)、世界最先端IT国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画(5月30日)において、「全国保健医療情報ネットワーク」を整備することとされたことを受け、改めて適切な目標を設定することを検討してまいりたい。	-
078	医政局	災害診療記録自動出力実証事業	随契については価格交渉をお願いしたい。(井出 健二郎)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成見込のため、平成29年度をもって終了すること。 なお、外部有識者の指摘を踏まえ、随契については価格交渉を実施すること。	予定通り終了	外部有識者の所見を踏まえ、随意契約の価格交渉について留意する。	-
079	医政局	医療情報連携ネットワーク構築支援サービス事業	平成28年度より開始された事業であり、適切かつ効果的な執行のために、本Webサイトの有効性について検証しつつ進めること。また、成果(アウトカム)は、電子カルテの普及率ではなく、現在ある250以上の医療情報連携ネットワークが増加、改善維持されることではないか。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	適切かつ効果的な執行のために、本Webサイトの有効性について検証しつつ進めること。また、外部有識者の所見を踏まえ、より適切な成果目標の設定を検討すること。	年度内に改善を検討	適切な成果目標の設定については、未来投資戦略2017(平成29年6月閣議決定)等において「全国保健医療情報ネットワーク」を整備することとされたことを受け、データヘルス改革推進本部の議論等を踏まえ、検討してまいりたい。	-
084	医政局	院内感染対策	高い執行率より判断して有用な事業であると思料される。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き必要な額の予算を確保し、適切な執行に努めたい。	-
085	医政局	医療機関行政情報システム改善事業費	医療機関への立入検査の結果を報告・集計する事業であり、予算額は12~15百万円で執行率は高く、必要な事業と認められる。よって、現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き必要な額の予算を確保し、適切な執行に努めたい。	-
099	医政局	国立研究開発法人国立循環器病研究センター設備整備費補助金	改善策に記載の通り、一般競争により競争性を高め効果的・効率的な事業執行に努めること。(横田 響子)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。 なお、今後、類似事業の執行に当たっては、外部有識者の所見を踏まえ、一般競争により競争性を高め効果的・効率的な執行に努めること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見や外部有識者の所見を踏まえ、類似事業にも活用する。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
100	医政局	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター設備整備費補助金	シートに事業名を記載していただきたい。平成29年度終了の事業を是認しながらも、本来28年度での予算が繰り越されたことは、計画性としては反省する余地があるのではないかと。(井出 健二郎)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成29年度をもって終了すること。なお、外部有識者の所見を踏まえ、今後、類似事業の執行に当たっては、繰り越しが発生しないよう、計画的な執行に努めること。	予定通り終了	当該事業は平成29年度をもって終了するが、得られた知見や外部有識者の所見を踏まえ、類似事業にも活用する。	-
101	医政局	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター設備整備費補助金	平成25年度から平成28年度までの期限のある事業であり、最終年度までに予算通り執行され終了している。レビューシートにおける関連事業との切り分けについて、事業番号112・115間の関連性を説明しているが、事業番号112と当事業、115と当事業の関連性を説明すべきである。なお、落札率が開示されておらず、その理由について記述されているが、本点検において支出額(落札実績額)が開示されることから、落札率の非開示が依然として合理的であるかについては再確認することが望ましい。(栗原 美津枝)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。また、外部有識者の所見を踏まえ、レビューシートにおける関連事業との切り分けの記載について見直すこと。また、落札率の非開示が依然として合理的であるかについては再確認すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見や外部有識者の所見を踏まえ、類似事業にも活用する。	-
102	医政局	国立研究開発法人国立がん研究センター設備整備費補助金	高度専門医療機関として設備整備の必要性は高く、継続して予算措置することが求められる。(長崎 武彦)	終了予定	事業は予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見や外部有識者の所見を踏まえ、類似事業にも活用する。	-
103	医政局	国立研究開発法人国立国際医療研究センター設備整備費補助金	国立研究開発法人国立国際医療研究センターの設備整備補助金事業であり、28年度で終了しているため、論評を差し控える。(増田 正志)	終了予定	事業は予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
104	医政局	国立研究開発法人国立成育医療研究センター設備整備費補助金	本年度事業終了に向け、適正な事業執行に努めること。また支出先記載箇所の落札率を追記すること。(横田 響子)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。なお、外部有識者の所見を踏まえ、落札率の非開示が合理的であるかについて確認すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見や外部有識者の所見を踏まえ、類似事業にも活用する。	-
106	医政局	国立研究開発法人国立成育医療研究センター施設整備費	単年度事業を是認するが、とりわけ使途bは多額であるにもかかわらず、1者応札であったことから、検証をしていただきたい。(井出 健二郎)	現状通り	平成28年度事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。なお、外部有識者の所見を踏まえ、使途bが1者応札であった理由を検証した上で、必要に応じて平成30年度以降も予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、平成30年度以降にも予算額を確保した上で、適正な執行に努める。また、今回の応札について検証した上で、今後の当該事業にも活用する。	-
108	健康局	特定感染症検査等事業費	予算を上回る執行が続いていることから、過去の施行状況、および風しん流行については平成32年までの排除を目指した今後の推移を踏まえ、必要額を適切に予算計上するよう努めること。その際、事業実施している自治体は増加しているものの、目的に照らして実施が充足されているか、十分でない場合には実施状況を向上させるための施策について検討すべきではないかと。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	感染症の発生の予防・まん延防止及び治療対策の推進に資する事業であることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
121	健康局	結核研究所補助	国の関与の下で推進する事業であり、有用性が認められる。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	結核に関する医学的研究等及び結核対策指導者の養成研修並びに国際協力の推進に寄与する事業であることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
123	健康局	予防接種対策推進費	予防接種による医療訴訟に関する調査・検討を行う事業であり、予算額7百万円である。必要な事業であり、現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
130	健康局	感染症発生動向等調査費	政府共通プラットフォーム移行に向け、入札の競争性担保に努め適正かつ効率的な事業執行に努めること。予算内訳部分へ平成29年度予算増額の背景と理由、資金の流れにおける事務費の概要を追記すること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	外部有識者からの所見については、ご指摘のとおりシート内に追記を行った。	-
139	健康局	エイズ対策促進事業	必要性は理解したうえで、開始から20年以上が経過している事業であり、一度立ち止まり検証等する必要もあるのではないかと。随契については可能な限り価格交渉をお願いしたい。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、自治体に対して随契についても可能な限り価格交渉をお願いするなど適正な執行に努める。	-
153	健康局	特定疾患等対策費	執行率は改善しているものの依然として不用額が発生していることから、引き続き予算額の見積りの改善に努めること。また、事業の単位当たりコストについては、参加者数で除しているが、アウトプットの開催回数に比例する要素が大きいと思われることから一開催当たりのコストでレビューすることが適当ではないかと。仮に、その数値でレビューしても不適切な推移にはなっていない。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、事業の効果測定を適切に行えるよう、単位当たりコストを見直すこと。	執行等改善	引き続き執行率の改善に向けて、必要な予算の確保と適正な執行に努める。外部有識者、行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、単位当たりコストについて見直しを行った。	-
157	医政局	国立ハンセン病療養所施設費	継続的に施設整備が求められ、効率的な執行が重要である。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	執行率を高め、繰越を減らしていくよう効率的な執行に努める。	-
158	医政局	国立ハンセン病療養所運営費	全国の13ハンセン病施設の運営によって、入所者の生活環境の改善を目的とする事業であり、現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、国立ハンセン病療養所における入所者の療養の質の向上を図るため、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
159	健康局	難病患者サポート事業	引き続き適正な事業執行に努めること。ただし、支出先については速やかに追記を行い、アウトカムの目標設定は前年度以上とせず一定数以上の設定が望ましい。(横田 響子) □	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、事業の効果測定を適切に行えるよう、成果目標の目標値を見直すこと。	執行等改善	引き続き必要な予算を確保するとともに、適正な執行に努める。外部有識者、行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、成果目標の目標値を見直した。	-
163	健康局	小児慢性特定疾病対策等総合支援事業	執行率の向上に向け、例えば申請数を増加するような方策を考慮していただきたい。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	小児慢性特定疾病児童等の健全育成及び自立促進を図るために必要な事業であるが、執行率が高くないことから、活動実績が低調に推移している要因を分析し、執行率の改善を図ること。	執行等改善	慢性疾病児童等地域支援協議会運営事業費の執行率の改善に向けて、都道府県等への普及啓発を行う。	-
164	健康局	小児慢性特定疾病データベース登録システム整備事業経費	小児慢性特定疾病データベース開発中に本システム改修が行われているのであれば、そもそもシステム開発プロセスが適切でない可能性がある。本システムの開発計画全体を管理し、改修の理由とシステム開発中の改修費用の負担について適切に対処し、早期かつ効率的にシステム開発を進めるべきである。その観点から、本システム改修の必要性とシステム開発完了時期についてレビュー結果として明示することが望ましい。(栗原 美津枝)	現状通り	治療に寄与する研究への活用を行うために全国の小児慢性特定疾病データの集積を行うために必要な事業であり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保するとともに、適正な執行に努める。外部有識者の所見を踏まえ、システム改修の必要性等については、レビューシートの備考欄に記載した。	-
177	健康局	国際交流調査研究事業	引き続き効率的な執行が求められる。(長崎 武彦)	現状通り	原爆放射能の健康影響に関する調査研究に必要な事業であることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	原爆放射能の健康影響に関する調査研究に必要な事業であることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-



レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
180	健康局	在外被爆者渡日支援等事業委託費	在外被爆者への治療のための諸経費を賄う事業であり、実質的な執行率も高い。現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	在外被爆者の健康保持及び増進に寄与する事業であることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	在外被爆者の健康保持及び増進に寄与する事業であることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
182	健康局	原爆被爆者介護手当等負担金	引き続き適正な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	原子爆弾被爆者の福祉の向上を図るために必要な事業であり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	原子爆弾被爆者の福祉の向上を図るために必要な事業であり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
189	健康局	原爆被爆者対策費	使途bについては1者応札の解消に向けて考慮していただきたい。集計・分析等調査については成果検証をお願いしたい。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	執行等改善	使途b（原子爆弾被爆者実態調査に係る集計、分析のための委託）については、次回の当該分析業務の調達時においては1者応札とならないよう、仕様の条件緩和の検討、より長い公告期間の設定等を行う。また、平成28年度に集計分析を行い、被爆者の生活、健康等の現状などの把握に視するデータを取りまとめ、結果について公表を行った。	-
190	健康局	毒ガス障害者対策費	現状適切に執行されており、引き続き事業規模・予算額を適切に見積もり執行に努めること。(栗原 美津枝)	現状通り	毒ガス障害者対策の行政事務に必要な経費であることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	毒ガス障害者対策の行政事務に必要な経費であることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
195	医薬・生活衛生局	医薬品等承認審査費	政府の政策方針に基づく事業であり、効率的な執行が求められる。(長崎 武彦)	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	縮減	平成28年度の執行状況を踏まえ、「医薬品等審査迅速化事業費補助金」を見直すことにより縮減を行った。	▲3
196	医薬・生活衛生局	医薬品等国際化対策事業	医薬品間開発のため欧米諸外国の実情等を調査し、共同開発等の試みを検討する事業である。新薬の開発、治験そして薬事法の認可にやや時間を要するわが国の実情に対処するものであり、現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	平成30年度概算要求においては、平成29年度予算額を基に医薬品規制の国際整合性を図るとともに欧米先進国に遅れることなく医薬品を使用できるために必要な経費を要求する。	-
199	医薬・生活衛生局	医療機器審査体制基盤強化費	予算増額理由、積算根拠の追記と平成28 実績値を速やかに記載すること。またアウトプット・アウトカムの適切な記載をすること。アウトプットは見込みの追記を行うこと。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	平成29年度における要求において革新的医療機器等国際標準獲得推進事業は事業の拡大するため増額要求となっている。また、単回使用医療機器を再製造した製品を承認する体制が平成29年度内に構築されることに伴い再生製造された単回使用医療機器に係る基準策定等の体制整備費を新規で要求している。	-
203	医薬・生活衛生局	一般用医薬品販売制度実態把握調査事業	今後も適切な予算見積もり、着実な執行をお願いしたい。使途Aについては1者応札の解消をお願いしたい。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。なお、平成29年度の調達においては、1者応札を解消することができている。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
205	医薬・生活衛生局	医薬品等事故対策事業	毎年執行率が極端に低いが、訴訟の進捗に左右されるため仕方ないものと思われる。引き続き必要な事業規模を維持し、適切な執行に努めること。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。	-
208	医薬・生活衛生局	医薬品等安全性調査事業	引き続き効率的執行に努められたい。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。	-
212	医薬・生活衛生局	医薬品等監視指導対策費	医薬品等の監視・指導を目的とするものであり、薬品の品質・薬効を維持・確保のための必須な事業である。アウトカムの想定が難しいものの執行率は高く、その必要性も認識されており、現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。	-
214	医薬・生活衛生局	医薬品等GMP対策事業	平成29年度予算増額要求の背景・理由および、アウトプット・アウトカムは事業の有効性が判断できる、例えば合同で実施することに価値があるため、模擬査察や検討会出席の人数だけでなく、地域数など数値を追加検討すること。(横田 響子) □	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。	-
216	医薬・生活衛生局	医薬品国家検定事業	今後も適切な予算見積もり、着実な執行をお願いしたい。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。	-
218	医薬・生活衛生局	国際的な安全性情報の収集・提供体制の整備事業	平成28年度より開始された事業であり、経常的な活動経費と初期的・時限的な活動経費が混在していると思われることから、活動内容・規模と必要経費を精査しつつ、執行率の向上に努めて頂きたい。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。	-
219	医薬・生活衛生局	医薬品適正使用推進事業	引き続き適切な予算執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。	-
221	医薬・生活衛生局	薬剤師生涯教育推進事業	勤務薬剤師の実務研修を行う事業であり、チーム医療に貢献できる体制の整備のために必要な事業である。現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。	-
222	医薬・生活衛生局	患者のための薬局ビジョン推進事業費	テーマ別実施自治体数を累積でアウトプットとして追加するなど、モデル事業の進捗が測れるようにしていただきたい。また、参加自治体は増える見込みということで目標も再設定を検討していただきたい。自治体の事業計画を踏まえ、効果的な事業選定を引き続き行うこと。(横田 響子)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に行えるよう、新たな活動指標を設定すること。	執行等改善	引き続き、自治体の事業計画を踏まえ、適正な執行に努めてまいりたい。なお、外部有識者の所見を踏まえ、テーマ別実施自治体数の累積をアウトプットに追加した。	-
230	医政局	治験活性化対策費	平成27/平成28年度と執行率が低調であり、2か年の見込み違いはマネジメント能力にかかわりかねないので、精査をお願いしたい。(井出 健二郎)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。	予定通り終了	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了する。外部有識者の所見を踏まえ、今後、類似事業を実施するに当たっては、予算額の妥当性を一層精査した上で、予算計上を行うこととする。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
239	医政局	医療機器に係る安全管理の促進事業	事業の目的は理解するが、本研修が医療機器の安全性を高める知識の習得等に資する内容となっているか事業の有効性を検証しつつ執行すること。そのため、成果目標(アウトカム)については、研修会への職員の派遣回数ではなく、研修受講者数や知識習得、安全性向上にかかる別の指標を設定し把握すべきではないか。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、事業の有効性を検証しつつ、執行な執行に努めること。また、成果目標についても見直しを検討すること。	執行等改善	ご指摘を踏まえて、事業の有効性を把握するために、成果指標を研修受講者数として、成果目標の見直しを実施した。引き続き、適切な執行に努めて参りたい。	-
240	医政局	臨床研究実施体制確保対策費	国が行う重要な監視機能であり、継続執行が必要である。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	法律に基づく臨床研究中核病院の立入検査に必要な不可欠な事業であり、引き続き適正な執行に努めてまいりたい。	-
241	医政局	臨床研究適正化等推進事業	臨床研究の体制を整備する事業だが、法令未成立のため28年度の執行率は50%弱であったが、法令成立と共に同事業の円滑な執行が期待される。現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	臨床研究法の施行を踏まえ、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
244	保険局	後期高齢者医療制度事業費補助金	平成29年増額理由を記載すること。アウトカム①②ともに、都道府県の予実差把握と地域差の共有・分析を行い課題解決を促しつつ、効果的・効率的に事業の執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、適切な執行に努めること。平成29年の増額理由を記載すること。	現状通り	今後も適切な事業執行に努めることとする。健康診査事業等にかかる受診対象見込み者数等の増加のため、要求増となった。	-
249	保険局	全国健康保険協会事務費負担金	今後も適切な予算見積もり、着実な執行をお願いしたい。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めることとする。	-
250	保険局	健康保険組合事務費負担金	執行率は100%で補填割合も100%と適切に執行されている。引き続き、健康保険組合の対象事業の把握を適切に行い、円滑な執行に努めること。なお、補填対象となっている各健保組合の費用支出について、モニタリングが必要と考えるが、もし実施していなければ早急に開始すべきである。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。また、各健保組合への支出の妥当性を確認すること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めることとする。また、各健保組合の費用支出についても、引き続き交付先の健康保険組合連合会とともに、各組合からの実績報告書を用い、支出の妥当性を確認していくこととする。	-
263	保険局	保険医療材料等の価格情報収集費	平成28年度執行率が低い理由にある消費税先送りとの関係はないのではないか。(長崎 武彦)	事業内容の一部改善	消費税先送りが低執行率に影響した理由を記載すること。予定していた調査が行えない場合における、当初の事業目的の達成方法について検討すること。	現状通り	本調査は、通常2年に1度診療報酬改定に係る基礎データを得るため行うものである。平成28年度は調査年度には当たらないが、消費税増税が予定されており、それに伴い診療報酬改定が行われる予定であったため、調査予定であった。しかし、消費税増税が先送りになったことから、診療報酬改定を行わないことになり、調査客体への負担軽減も鑑み、調査を行わない事にした。よって調査自体への変更はないため、現状通りとした。	-
265	保険局	医療指導監査官の活動に要する経費	保険医療機関に対する医療指導監査に係る必要経費を措置するもの。現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	概算要求での増額分は保険医療機関等の指導監査に係る支援業務を外部委託すること等による経費増である。	-
267	保険局	衛生検査所検査料金調査費	実施年度のみ予算記載に変更し、調査票回収率目標については適正な数値に再設定を行いつつ回収率向上を行い、次回調査時、適正な執行に努めること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	あらかじめ調査が予定されていない年度については予算計上をしないことを検討すること。調査票回収率の目標は実績を踏まえて設定すること。	執行等改善	今後、あらかじめ調査が予定されていない年度については、予算記載はしないこととする。調査票回収率目標については、過去の実績を踏まえ適正な数値を設定することとし、引き続き回収率の向上に努める。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
268	保険局	保険診療の効率化に関する調査検討費	担当者も認識している通り、1者応札の改善、随契の場合は価格交渉をお願いしたい。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	一者応札の改善を図ること。 随意契約については、引き続き適切な価格となるよう努めること。	執行等改善	調達が1者応札となっている事業については、公告期間の延長、業者への声かけ等により、入札を実施していることについて周知等の改善策を実施する。随意契約については、引き続き複数社から見積もりを取り、適切な価格となるよう努める。	-
269	保険局	医療保険制度改正経費	毎年経常的に行われる事業であり、引き続き効率的な執行、執行率の向上に努めて頂きたい。平成29年度の予算が急増しており(平成28年度予算額51百万円→平成29年度434百万円)、他方活動指標等に変化が見られないことから、その理由を説明する必要がある。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	引き続き適正な執行に努めること。 平成29年度予算の増額要因について理由を説明すること。	執行等改善	今後も適切な事業執行に努める。 平成29年度より、地方厚生局における保険医療機関等への調査回数を大幅に増加するよう依頼しており、その事務の補助にあたる賃金職員の人件費の増に対応するため、大幅な増要求となったもの。	-
275	保険局	国民健康保険組合出産育児一時金等補助金	引き続き適正な執行が求められる。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	今後も適切な事業執行に努めることとしている。	-
279	保険局	保険医療機関等管理システム	保険医療機関からの施設基準等の届出等の管理・運営を行う事業であり、現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めたい。	-
282	保険局	保険料等交付金に必要な経費(年金特別会計健康勘定)	引き続き適正な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めたい。	-
283	保険局	過誤納保険料の払戻し等に必要な経費(年金特別会計健康勘定)	今後も適切な予算見積もり、着実な執行をお願いしたい。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めたい。	-
291	保険局	国民健康保険制度関係業務準備事業費補助金	制度改正に伴う各団体でのシステム開発への補助を平成28、平成29年度の時限事業として行うものであり、予定通り完了し、事業を終了すべきである。但し、システム開発が遅延する場合は、目的に照らし適切に対応すべきである。なお、補助先の各団体における支出を把握し、適切な補助となっていたことを事後確認する必要がある。(栗原 美津枝)	終了予定	当該事業目的を達成した場合、平成29年度をもって終了すること。 遅延が発生する場合は対応を行うこと。 事業終了後には、各補助先への支出の妥当性を確認すること。	予定通り終了	平成29年度限りで事業を終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
292	保険局	チーム医療に於ける医科歯科連携の在り方に関する調査費	平成28年度だけの事業であるが、執行状況を早期に把握する必要がある。(長崎 武彦)	終了予定	予算執行と事業の成果について達成状況を顧み、今後の他の事業における適切な予算執行に活かすこと。	予定通り終了	調査開始が平成28年度末となってしまったため、調達業務が行えず、予算の執行ができなかったが、調査自体は適切に完了した。得られた知見は他の事業にも活用する。	-
293	保険局	患者申出療養に関する経費	患者申出療養制度を運営するための体制整備を目的とし、厚労省のホームページを通じた工法を図る事業であり、現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、適正な執行に努めたい。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
294	保険局	熊本地震にかかる保険者への財政支援（医療保険分）	適正に執行がなされ事業は終了している。執行にあたり課題・改善策、注意点など、他の機会に活かすようまとめ共有すること。（横田 響子）	終了予定	当該事業は被災地への助成事業として一定の成果を達成しており、今後の終了時期については、適切な判断により決定していただきたい。	予定通り終了	平成28年度限りで事業が終了したが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
295	保険局	後期高齢者医療災害臨時特例補助金	単年度事業であり、問題ないが、念のため効果の検証をお願いしたい。（井出 健二郎）	終了予定	当該事業は被災地への助成事業として一定の成果を達成しており、今後の終了時期については、適切な判断により決定していただきたい。	予定通り終了	平成28年度限りで事業が終了したが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
298	保険局	療養病床転換助成に必要な経費	予算上の前提となる転換予定数に対し、実績が未達となっていることから、その要因分析と今後の見込みについて、都道府県との情報交換をより密に実施し、予算見積もりの精度向上に努めて頂きたい。関連事業の切り分けの説明に不備があるので、訂正されたい。（栗原 美津枝）	事業内容の一部改善	過去の実績を踏まえ、適正な額を要求すること。	縮減	平成30年度より、転換先施設に新たに介護医療院を追加し、更なる医療療養病床の転換を見込んでいるが、過去の実績額等も踏まえ、要求額は減らした（約1千万円）。予算要求時において、都道府県へのヒアリングをもとに、転換予定の病床数を踏まえて必要な予算を要求しているが、病院等の事情により事業の実施に至らないことがあるため、予算要求時の都道府県へのヒアリング内容に加え、秋以降の予算編成時にも再度直近の状況を確認し適切に予算を要求する。	▲11
302	健康局	地域保健活動検討経費	過去の執行率は100%であり、成果を上げており評価される。（長崎 武彦）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
305	健康局	医療社会事業従事者（医療ソーシャルワーカー）指導強化費	高度化する医療技術に対応するため、ソーシャルワーカーの研修を実施する事業であり、現状維持としたい。（増田 正志）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
328	健康局	健康危機管理情報収集事業費	ライブラリーの利用件数目標は、前年実績とせず最終目標となる約11万件に向け、中間目標も含め設定をすべきである。また研修受講者出席率が120%となっているのは適切か確認を行う上で、出席者数及び単位あたりコストの追記を検討すること。適正な目標設定を行い、効果的効率的な事業執行に努めること。（横田 響子）	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に行えるよう、成果目標の目標値を見直すこと。	年度内に改善を検討	事業の効果測定を適切に行えるよう、成果目標の目標値を見直しについて検討を行う。	-
334	医薬・生活衛生局（生食）	食品汚染物質の安全性検証推進事業	今後も適切な予算見積もり、着実な執行をお願いしたい。また、10年を経過した事業であり、一度立ち止まり検証する時期に来ているのではないかと。（井出 健二郎）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	10年以上が経過したが、食品規格部会の審議に基づいて対象となる物質が変わっているため、同事業は引き続き必要である。	-
335	医薬・生活衛生局（生食）	健康食品の安全性の確保等事業	予算の執行率は高いが、試験検査の執行先が国立医薬品食品衛生研究所に集中していることについて適切であることを点検すべきではないか。法令で実施団体が特定されているとか、年間2-3件の検査数で事前予測がしにくいことから同研究所への随意契約が妥当であるといった理由があるのであれば、その旨説明をすることが望ましい。（栗原 美津枝）	事業内容の一部改善	試験検査の執行先が国立医薬品食品衛生研究所に集中していることが適切かどうかを検証し、その検証結果が妥当であるならば、その理由を明確にすること。	現状通り	国立医薬品食品衛生研究所（以下、「国衛研」という。）には事業内容に造詣の深い専門家が多数在籍しており、専門性の高い情報の集約、取捨選択において適した機関であるため国衛研への支出は妥当である。また、国衛研への支出は直接契約ではなく支出委任であり、外部委託で差し支えない検査などについては、国衛研から複数の民間企業に対して契約を行っている。	-
339	医薬・生活衛生局（生食）	水道行政強化拡充費	今後も適正な執行に努めること。（長崎 武彦）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保するとともに、適切な執行に努める。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況	反映額
343	医薬・生活衛生局(生食)	水道産業国際展開推進事業費	水道事業は安全な水の供給という点で重要と考えるが、既に諸外国では水道事業大手が広範囲に事業を展開しており、また日本の事業者も遅れ馳せながら同事業への参入を図っている。当事業が現時点で果たして官が実施する事業として必要なか疑問を感じる。見直し検討を求める。(増田 正志)	終了予定	平成29年度をもって終了予定の事業ではあるが、本事業をこれまで官が実施すべきであったのかどうか検証を行うこと。	予定通り終了 予定通り平成29年度で終了する。なお、以下の課題に取り組むため、平成30年度から新たに「水道インフラシステム輸出拡大推進事業」を開始する。 ① 国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」では、2030年までに全世界の人々への安全な水の供給を目標としており、開発途上国からは、日本の官民が有する優れた水道技術による支援を期待されている。 ② 政府の「インフラシステム輸出戦略(平成29年5月改定)」では、日本の成長戦略・国際展開戦略の一環として、途上国での上水道整備等の計画段階から、日本の官民が連携して日本企業の展開を支援することとしている。	-
344	医薬・生活衛生局(生食)	給水装置データベース事業促進費	引き続き適正に事業執行に努めること。ただ、保守回数が年々減少している。目標設定は前年実績となっているようだが適切なのでしょうか。最低限実施必要回数の追記を行い、次回業者選定の仕様確定にあたって保守回数実績を予算積算の参考とすること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り 引き続き、必要な予算額を確保するとともに、適切な執行に努める。保守回数については、必要に応じて行うこととしており、最低限実施必要回数は決めていなかったが、平成29年度から、毎月保守実績を求めることとした上で事業実施者の選定を行っている。	-
345	医薬・生活衛生局(生食)	給水装置工事主任技術者国家試験費	今後も適切な予算見積もり、着実な執行をお願いしたい。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り 引き続き、必要な予算額を確保するとともに、適切な執行に努める。	-
346	医薬・生活衛生局(生食)	水道施設整備事業調査費(水道施設整備事業調査諸費含む)	本調査事業において複数の入札者による一般競争入札が実施されており評価できる。それらの結果、執行率が低下する傾向にあることから、執行実績を踏まえ予算額を適切に見直すこと。水道施設の更新およびその手法を検討することは重要な目的であるが、これら複数の調査の有効性について検証しつつ今後の事業内容について検討を進めて頂きたい。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	執行実績を踏まえ、積算を見直し、予算額を縮減すること。	現状通り 以下の理由により、概算要求においては、必要額を要求することとする。 ①当該事業の平成25~27年度の執行率の平均は91%であること ②平成28年度の落札率は低率(50%前後)であったが、調査内容は毎年見直しを行っていることから、平成30年度に行う契約の落札率が平成28年度と同様になるとは限らないこと。	-
347	医薬・生活衛生局(生食)	水道施設等整備費(水道施設災害復旧費補助含む)	水道施設の老朽化への対策は重要であり、必要な事業と考えられる。但し、翌年度への繰越額が多額であり、これの解消努力が求められる。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り 引き続き、必要な予算額を確保するとともに、適切な執行に努める。	-
351	医薬・生活衛生局(生食)	新水道ビジョンに基づく水道事業基盤強化の検討調査費	地公体が担っている水道事業の経営は極めて厳しい状況に置かれており、今後継続的に完全な水の供給を図ることの重要性を認める。現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	廃止 本事業では平成25年3月に策定した新水道ビジョンに基づく取組を促進するための検討調査を行っていたが、現在国会に提出している水道法の一部を改正する法律案において新たに規定された水道の基盤強化を図るための施策を一層推進するため、平成30年度から新たに水道の基盤強化方策推進事業を概算要求することに伴い、本事業を廃止する。	▲ 5
352	医薬・生活衛生局	あへん供給確保事業	引き続き適正に事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り 引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。	-
354	医薬・生活衛生局	麻薬・覚せい剤等対策費	今後も適切な予算見積もり、着実な執行をお願いしたい。ただ、開始年度を勘案すると、不断の精査をお願いしたい。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り 引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
358	医薬・生活衛生局	麻薬等対策推進費（広報経費）	各事業毎の目標も概ね達成されており、予算額も執行実績を踏まえた見直しが平成28年度になされ、より適切に施行されている。引き続き適切な執行に努めること。（栗原 美津枝）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。	-
359	地方課、医薬・生活衛生局	麻薬・覚せい剤等対策事業	引き続き適切な執行に努めること。（長崎 武彦）	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	執行等改善	結果的に一者応札となっているものについては改めて要因の分析を行った上で、次回調達時において、公告期間や入札参加資格等の必要な見直しを行い、引き続き一者応札の改善に努めることとする。	-
361	医薬・生活衛生局	家庭用品規制法施行事務費	家庭用品の科学的安全性を調査する事業であり、現状維持としたい。（増田 正志）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	家庭用品に含まれる化学物質の安全性評価をより一層推進するため、試験検査に必要な経費を増額要求している。	-
368	労働基準局	労働条件・労働安全衛生関係相談業務の外部委託化経費	コールセンター対応割合を引き上げるため、効率的・効果的な手法開発を平行しつつ、引き続き入札における競争性を確保し、適正に事業執行に努めること。（横田 響子）	事業内容の一部改善	成果実績は目標を達成しており、活動実績も当初見込みを上回っているが、執行率を勘案して積算を見直す等事業内容を精査し、予算額の縮減について検討すること。	執行等改善	指摘を踏まえ、不用が生じないよう過去の執行率を勘案して積算を行った。（なお、平成30年度要求額が増額となっているのは、コールセンター事業の対象箇所の拡大に伴うものである。）	-
375	労働基準局	労働災害防止対策費補助金	今後も適切な予算見積もり、着実な執行をお願いしたい。平成28で精査のものは早期に記入をお願いしたい。（井出 健二郎）	現状通り	点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めることとする。	-
376	労働基準局	じん肺診断技術等研修事業	平成28年度に予定通り事業を終了している。（栗原 美津枝）	終了予定	平成28年度に予定どおり終了した。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
378	労働基準局	特定有害業務従事者の離職者特殊健康診断実施事業	引き続き適切な予算執行に努めること。（長崎 武彦）	現状通り	点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めることとする。	-
381	労働基準局	化学物質管理の支援体制の整備	化学物質による労働災害を防止するため対応策を講じることを目的とした事業であり、その必要性は認められる。現状維持としたい。（増田 正志）	事業内容の一部改善	成果実績は目標を達成しており、活動実績も当初見込みを上回っているが、執行率を勘案して積算を見直す等事業内容を精査し、予算額の縮減について検討すること。	縮減	執行実績を踏まえ、所要額を減額の上、概算要求を行うこととした。	▲2
398	労働基準局	屋外アーク溶接作業時に係る粉じんばく露防止対策の周知	統合事業とはいえ、省内完結案件であり事務費の記載は速やかに行うこと。他事業への統合後も、効率的な事業執行に努めること。（横田 響子）	現状通り	点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、事業の統合後においても適正な執行に努めること。	予定通り終了	他事業への統合後も引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めることとする。	-
402	労働基準局	長時間労働・過重労働の解消・抑制等経費	今後も適切な予算見積もり、着実な執行をお願いしたい。平成28年度の精査中は早期に書き込んでいただきたい。（井出 健二郎）	事業内容の一部改善	成果実績は目標を達成しており、活動実績も当初見込みを上回っているが、執行率を勘案して積算を見直す等事業内容を精査し、予算額の縮減について検討すること。	現状通り	長時間労働対策については社会的関心も強い事項であることから、対策を拡充し、本事業を実施していく必要がある。なお、30年度要求については、事業内容及び積算の精査を行った。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
405	労働基準局	特別安全衛生指導等経費	労働災害の減少という大きな目標に対し、本事業が具体的に目標とするもの(アウトカム)の設定し、本事業の成果を把握していくことが望ましいが、難しい場合は、各事業の活動指標(アウトプット)をより分かりやすい指標に設定し、本事業を管理していくべきである。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	成果実績が目標を下回り、かつ活動実績も当初見込みを下回ったことを踏まえ、未達成の要因を分析の上、改善の方向性に記載した事項を着実に実行することにより、事業内容の改善を図るとともに、執行率を勘案して積算を見直す等事業内容を精査し、予算額を縮減すること。	縮減	積算の見直しにより予算額の縮減を行った。	▲0
406	労働基準局	特定分野の労働者の労働災害防止活動促進費	増加する外国人労働者に適切な労働環境を提供することは重要である。引き続き適切な執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	点検結果は妥当であり、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
432	労働基準局	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係る建設需要に対応した労働災害防止対策	オリンピック誘致に伴い、増加する建設現場の労働災害の発生を未然に削減することを目的とした事業であり、今後従前にもまして支出が増加するものと予測される。よって、現状維持としたい。(増田 正志)	事業内容の一部改善	活動実績が当初見込みを下回ったことを踏まえ、未達成の要因を分析の上、改善の方向性に記載した事項を着実に実行することにより、事業内容の改善を図るとともに、執行率を勘案して積算を見直す等事業内容を精査すること。	縮減	積算の見直しにより予算額の縮減を行った。	▲3
433	労働基準局	建設工事における安全経費の確保に係る実態調査	平成29年度の増額予算理由と根拠を記載すること。事業終了年度を可能な限り記載すること。アンケート実施についても4145社に対する回収数と率の追記を行い、効率的事業執行を判断できるよう検討すること。また政策目標箇所については建設関連に限定した労災死亡、死傷者数値を追加していただきたい。効果的効率的事業執行に努めること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	成果実績は目標を達成しており、活動実績も当初見込みを上回っているが、執行率を勘案して積算を見直す等事業内容を精査すること。	縮減	当初の目的を達成する見込みである業務を廃止することにより予算額の縮減を行った。	▲33
434	労働基準局	東電福島第一原発廃炉等作業における被ばく低減対策の強化	今後も適切な予算見積もり、着実な執行をお願いしたい。(井出 健二郎)	現状通り	点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
435	雇用環境・均等局	職場のパワーハラスメントに関する実態調査	平成28年度の単年度事業であり、ほぼ計画通りの活動実績を上げ、また競争環境も確保された上で、事業を終了している。改善の方向性にもあるように、本調査を活用し今後の施策がより効果的に実施されることを期待する。(栗原 美津枝)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
436	労働基準局	労災保険給付に必要な経費	過去の実績から判断して必要な予算であると思われる。(長崎 武彦)	事業内容の一部改善	成果実績が目標を下回ったことを踏まえ、未達成の要因を分析の上、改善の方向性に記載した事項を着実に実行することにより、事業内容の改善を図ること。	現状通り	成果実績については、目標を下回ったが、概ね見込どりの実績となっている。	-
437	労働基準局	職務上年金給付費等交付金に必要な経費	船員保険の制度改正に伴う、移管業務に要する経費に充てる事業であり、現状維持としたい。(増田 正志)	事業内容の一部改善	活動実績が当初見込みを下回ったことを踏まえ、未達成の要因を分析の上、改善の方向性に記載した事項を着実に実行することにより、事業内容の改善を図ること。	縮減	今後の保険給付件数の見込みについて、実績等を勘案し、精査の上、要求額の縮減を行った。	▲114
442	労働基準局	独立行政法人労働者健康安全機構運営費交付金に必要な経費	平成28予算増額理由の記載を行うとともに、連動するアウトプットアウトカムがあれば追記すること。また、主要事業における単位当たりコストの追加記載を検討するとともに、事業の有効性が判断できるようにし、適正な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-



レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
447	労働基準局	義肢等補装具支給経費	精査中の数字等の早期の記載をお願いしたい。使途Bは、具体的にどんな業者等をイメージし、個別に額は把握できないものか。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	成果実績は目標を達成しており、活動実績も当初見込みを上回っているが、執行率を勘案して積算を見直す等事業内容を精査し、予算額の縮減について検討すること。	縮減	執行実績を踏まえ、所要額を減額の上、概算要求を行うこととした。	▲404
452	労働基準局	労災就労保育援護経費	新規申請が予測しがたい事業ではあるが、過去の執行状況を勘案しつつ適切に予算を見積もり、引き続き迅速な執行に努めて頂きたい。(栗原美津枝)	事業内容の一部改善	活動実績が当初見込みを下回ったことを踏まえ、未達成の要因を分析の上、改善の方向性に記載した事項を着実に実行することにより、事業内容の改善を図るとともに、執行率を勘案して積算を見直す等事業内容を精査し、予算額の縮減について検討すること。	縮減	執行実績を踏まえ、所要額を減額の上、概算要求を行うこととした。	▲6
453	労働基準局	労災就学援護経費	引き続き適正な執行に努めること。(長崎 武彦)	事業内容の一部改善	活動実績が当初見込みを下回ったことを踏まえ、未達成の要因を分析の上、改善の方向性に記載した事項を着実に実行することにより、事業内容の改善を図るとともに、執行率を勘案して積算を見直す等事業内容を精査し、予算額の縮減について検討すること。	縮減	執行実績を踏まえ、所要額を減額の上、概算要求を行うこととした。	▲58
468	職業安定局	独立行政法人勤労者退職金共済機構雇用促進融資勘定運営費交付金	中小企業への社宅・訓練施設等の整備に対する融資制度が独立行政法人雇用・能力開発機構から独立行政法人勤労者退職金共済機構に移管されたことに伴う経費を充てる事業である。現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
469	中央労働委員会	安定した労使関係等の形成の促進に必要な経費	案件数が減少している一方、平成26年度と比べ終結日数が延びている。原因を分析し、短縮化に向け改善策を講じること。また、件数が減少しているため予算積算を適正に積算する必要がある。引き続き入札における競争性を保ち、効果的・効率的、事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	縮減	終結日数が延びてきていることに対しては、労働委員会の委員を中心としてこれまでの取組を精査し、目標達成に向けた確実な取組を図るための措置（期日の設定の工夫や事件処理スケジュールの徹底等）などの改善案を講じているところ。また、30年度予算要求については、事件数の減少及び28年度執行率の状況に鑑み、減額することとした。	▲3
470	労働基準局	国際労働関係事業費	2事業について、いずれも1者応札が継続しており、執行額もほぼ固定していることから、競争環境を改善するための入札事業の周知、事業の細分化、募集方法の改善等、一段の改善を図って頂きたい。(栗原 美津枝)	現状通り	点検結果は妥当であり、執行率も良好であることから、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	一者応札の改善に向けて事業内容の明確化等仕様書の見直しを図るとともに、引き続き事業の効率化に努めつつ、必要な予算要求を行う。	-
471	雇用環境・均等局	個別労働紛争対策の推進	執行率は高く、有用な事業であると思料される。事業実施の多くは都道府県労働局に委ねられており、これの実施状況をフォローすることが求められる。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	総合労働相談件数は9年連続100万件を超えるといった依然として高水準で推移しており、相談内容もいじめ・嫌がらせなど複雑・困難化しているところである。個別労働紛争解決制度役割は「簡易・迅速」な解決であり、今後もあっせんの参加勧奨、処理率の改善を図りつつ、個別労働紛争の実情に即したより一層の簡易・迅速・適正な相談、助言・指導等を実施し、早期の自主的な解決の促進を図っていく必要がある。このため、平成30年度概算要求においては、全国380カ所の「総合労働相談コーナー」で個別労働紛争に対応する総合労働相談員755名の処遇改善を図る等体制整備に必要な経費を盛り込んでいる。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
479	職業安定局	失業給付受給者等就職援助対策費	失業者の求職活動を支援する事業であるが、その時々の就職・求人状況を各労働局で分析したうえで、より実効性のある事業を実施すべきである。各労働局の同事業を財源とした活動内容の報告を受け、分析し、当該事業の実効性を測るべきである。よって同事業は、事後の検証・分析を条件として維持継続としたい。(増田 正志)	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。 また、成果実績が低調に推移している要因を分析し、事業の適正な執行を図ること。	執行等改善	事業の実施にあたっては、各労働局におけるセミナー等の実施状況及び参加者に対するアンケート結果の把握等により、実効性の確保に努めているところであるが、ご指摘を踏まえ、当該活動内容を精査し、地域の実情に応じた実効性の更なる確保に努めてまいりたい。 また、一者応札の改善を図るとともに、成果実績が低調に推移している要因を分析し、事業の適正な執行を図ってまいりたい。	-
481	職業安定局	福祉人材確保重点プロジェクト推進費	平成28年度就職率目標値が57となっており目標設定が適正か説明が必要。福祉分野における求人充足率の追記などを行い、事業の有効性が検証できる数値を記載し、効果的・効率的な事業執行に努めること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	より適切な活動指標を設定すること。	執行等改善	【平成28目標値（就職率）の設定】 目標値については、過去の平均及び28年度中に拡充する拠点の設置等を踏まえて設定しており適正である。 【より適切な活動指標の設定】 雇用情勢が着実に改善している中、福祉分野のほか、警備業、運輸業など、人材不足分野全般への対応が求められていることから、平成30年度概算要求においては、本事業を人材確保分野全般の事業として見直し、人材確保支援の総合専門窓口を運営するための体制整備を行うとともに、人材不足分野でのマッチング支援を行うこととしている。このため、平成30年度の活動指標の設定に当たっては、人材不足分野における人材確保について、事業の活動内容を測定できる指標とするよう検討する。	-
482	職業安定局	ハローワークのマッチング機能強化のためのキャリアコンサルティング推進事業	今後も適切な予算の見積もりのもと、執行率の向上に努めてほしい。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	活動実績が低調に推移している要因を分析し、事業の適正な執行を図ること。	執行等改善	(事業概要①)活動実績は、雇用環境の改善もあり、当初見込みより低調となったが、高い就職率は維持できしており、マッチングの効率性は上がっている。引き続き、訓練説明会の実施等により、周知・広報を行うことで、事業の適正な執行に努めてまいりたい。 (事業概要②)一部の労働局において、キャリアコンサルタントの配置数に見合う支援対象者数を確保できなかったことにより、活動実績が見込みを下回ることとなった。支援対象者数を確保するため、事業の周知・広報活動について、ハローワーク等の窓口での周知に加えて、雇用保険受給者説明会等も活用することにより、求職者の実施施設への誘導を促進してまいりたい。 (事業概要③)活動実績が当初見込みを下回った要因について、平成28年度より実施された事業であり、事業実施前の周知・広報が十分でなかったものと考えられる。なお、現在では当該事業を実施している施設近隣のハローワークにおいて集中的にパンフレットや窓口での案内等による利用促進を行っており、適切に事業を実施している。	-
486	職業安定局	求人確保・求人者指導援助推進費	活動指標の増加が見られないにもかかわらず、平成29年度の予算額が前年度予算比1割以上増加しており(実績比では2割増加)、単価が急増していることから、その理由を点検すべきである。また、活動指標について、配置した支援員数も重要な指標として把握すべきではないか。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	成果実績を踏まえ、積算を見直し、予算額を縮減すること。また、より適切な活動指標を設定すること。	執行等改善	平成29年度の予算額で見た場合の単価が平成28年度予算比で増加している要因は、求人者支援員の諸謝金単価増等によるものである。また、活動指標については、ご指摘を踏まえ、平成29年度からは、開拓求人数（（配置した支援員数）×（求人者支援員1人当たりの開拓求人数））を活動指標として把握することとしたい。	-
487	職業安定局	労働者派遣事業の適正な運営の確保にかかる経費（旧：労働者派遣法の施行等による雇用の安定確保にかかる経費）	引き続き効率的な執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
492	職業安定局	優良な民間人材サービス事業者の育成促進	派遣に係る法令の緩和によって非正規雇用の広範に及んでいることは、収入・生活の不安定の一大要因になっているのは事実ですが、かかる雇用状況の中で被雇用者の生活の安定を図るために、同事業の意義を認める。よって現状維持としたい。(増田 正志)	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	執行等改善	引き続き応札者拡大のため、問合せに対するきめ細かな対応等を通じて入札説明会への参加を促す。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
494	職業安定局	求人情報提供の適正化推進事業費	配布先は目標未達成、セミナー参加者も限られている。事業の有効性を出すには、新ガイドラインに沿った求人票の提出割合などよりの確な指標が必要ではないか。 また、新ガイドラインの早期浸透をはかるため、事業の期限を切り、終了年度の記載が望まれる。一者応札の改善含め、効果的な事業執行に努めること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	活動実績が低調に推移している要因を分析し、事業の適正な執行を図ること。 また、執行率を踏まえ、予算額を縮減するとともに、より適切な活動指標を設定すること。 さらに、一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	縮減	事業の内容及び予算額を見直し、新たな指標を設定するとともに、求人媒体のモニタリング等を通して事業の認知度を高める取組を行う。 また、引き続き応札者拡大のため、問合せに対するきめ細かな対応等を通じて入札説明会への参加を促す。	▲1
495	職業安定局	沖縄離職者雇用対策費	今後とも適切な予算の見積もりをお願いするとともに、事業開始から永年のため、一度検証する必要があるようにも思う。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	成果実績及び活動実績が低調に推移している要因を分析し、事業の適正な執行を図ること。 また、執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	縮減	県内の雇用環境の改善等により、県内就職志向が高まっているが、依然として県外就職希望者が一定程度存在するため、関係労働局と一層の連携を図り、合同面接会の実施、県外就職情報の提供等の積極的な実施を促進する。また、平成30年度概算要求においては、活動実績を踏まえ、要求額を縮減。	▲0
497	職業安定局	労働移動支援助成金	執行率が低く推移しており、活動指標の支給対象者数が当初見込みと実績値に大幅な乖離があることから、実績動向を踏まえ見込みの改善を図る必要がある。 いずれの事業も単価が上昇しており、特に新設された制度は支給単価が高くなっていることから、その合理性を確認すべきである。 更に、再就職支援奨励金の元雇用主への助成が再就職の促進に効果があるのか、また拡充した制度が事業主の再就職受入れを促進しているのか等、今後の利用状況および再就職者の定着率等を把握しつつ、効果的な制度となっているのか検証して頂きたい。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	成果実績及び活動実績が低調に推移しているコースがあるため、その要因を分析し、事業の適正な執行を図ること。 また、執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	縮減	執行率や今後の雇用情勢を踏まえ積算の見直しを行うとともに、活動実績が低調なコースについては統廃合を行い、概算要求額の縮減を図った。 助成金の効果検証については、引き続き検証を行う予定である。	▲3,336
501	職業安定局	産業雇用安定センター運営費	送件数やあっせん成立件数が、平成26、27年度と比較して減少している。 労働環境の影響もあると考えられるが、産業雇用安定センターの活動状況をフォローすることが求められる。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	所見について、今後とも活動状況をフォローし、適正な事業執行に努める。	-
503	職業安定局	実践型地域雇用創造事業	雇用が不足している地域で、当該地域の市町村や経済団体等の関係者から構成される地域雇用創造協議会が実施する地域求職者の人材育成、就職・創業及び事業拡大の支援を行う事業であるが、その実績の分析・把握が大きな課題と考える。事業を利用した地域求職者等の就職者数又は創業者数の実績がアウトカムであり、継続的な雇用に繋がっているかの分析・研究は必須であり、当作業を条件として同事業を継続としたい。(増田 正志)	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	縮減	アウトカムとして計上された就職者及び創業者が、継続的な雇用に繋がっているかの分析・研究について実施することとする。 また、平成30年度概算要求にあたっては、平成29年執行額を踏まえた金額とすること、新規採択地域見込数を応募可能性の高い地域に限定すること等により削減を行った。	▲894
507	職業安定局	港湾労働者就労確保支援事業費	アウトプットに相談件数を追加し、講習、相談業務は分けて単位当たりコストを記載し、事業効果を検証の上、適正な執行を行うこと。(横田 響子)	事業内容の一部改善	より適切な活動指標を設定すること。	年度内に改善を検討	平成29年度から相談件数を集計し、単位当たりコストの検証など、適正な執行を行う。	-
510	職業安定局	介護労働者雇用改善援助事業等交付金事業	今後とも適切な予算見積もり、着実な執行をお願いしたい。ただ、開始年度を勘案すると、不断の精査をお願いしたい。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
520	職業安定局	生涯現役起業支援助成金	平成28年度に開始されたばかりの事業であることから、利用状況を踏まえ、今後、効果検証と適正な予算規模への改善を図って頂きたい。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	縮減	執行実績を踏まえ予算額の見直しを行うとともに、必要に応じて制度の見直しを行うものとする。	▲123

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
527	職業安定局	特定求職者雇用開発助成金（生涯現役コース）	執行実績を勘案して予算の減額が必要である。（長崎 武彦）	事業内容の一部改善	活動実績が低調に推移している要因を分析し、事業の適正な執行を図ること。また、執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	縮減	平成30年度概算要求においては、事業実績を踏まえた対象人員の見直しにより縮減を図ることとする。	▲1,662
529	職業安定局	雇用と福祉の連携による地域に密着した就労支援の実施	障害者の就職支援を行う事業であり、その必要性は認められる。各センターでの活動内容を把握・分析し、それぞれの手法等についての情報も公表して、相互の実績向上を図る手当を期待し、現状維持とする。（増田 正志）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
531	職業安定局	就職安定資金貸付等事業費	執行実績と景気動向を鑑み、適正な予算積算と執行を行うこと。（横田 響子）	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	縮減	執行状況等を踏まえ、要求額を縮減する。	▲44
533	職業安定局	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構高齢・障害者雇用支援勘定運営費交付金	今後ともこれまでの仕分けの指摘を考慮しながら、適切な執行に努めていただきたい。（井出 健二郎）	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。平成30年度概算要求においては、事業実績を踏まえた対象人員の見直しにより縮減を図ることとする。	執行等改善	平成28年度には、「一者応札・応募案件に係る要因・分析・改善調書」により一者応札等となった要因の把握・分析、次回調達時の改善の立案を策定し、次回調達において改善方針を着実に実行するなど、PDCAサイクルを回すことで、一部の調達案件が改善されたところ。引き続き、PDCAサイクルを回し、一者応札となっている要因を分析し、一者応札の改善に努めるものとする。	-
535	職業安定局	職業転換給付金制度	予算執行の大半が求職者向け就職促進手当の支給であることから、活動指標として就職促進手当に関する活動を表す数値（ex.支給対象者数等）を把握すること、かつ、対象者の再就職状況を成果指標として本事業を評価すべきである。平成28年度に予算が倍増した理由および執行額が横這いだったため、執行率が31%に留まった理由を説明すること、かつ、平成28年度執行額に比し平成29年度の予算額が依然として大きく見積もられていることについて、合理的な見積りとなっていることをレビューすることが望ましい。（栗原 美津枝）	事業内容の一部改善	活動実績が低調に推移している要因を分析し、事業の適正な執行を図ること。また、執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	縮減	所見の趣旨を踏まえ、本事業の目的に照らして、適切な活動指標・成果指標の設定のあり方について検討してまいりたい。平成30年度概算要求においては、対象人員の見直し等により縮減を図ることとする。	▲19
544	職業安定局	外国人雇用サービスセンター等運営費	現下の労働市場の状況において当事業の有用性は増大すると考えられる。適正な予算執行に努めること。（長崎 武彦）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
545	職業安定局	障害者雇用促進関係経費	障害者の雇用促進のための事業であり、事業者の経営規模によって一定割合の雇用を求めており、成果が上がっている。現状維持としたい。（増田 正志）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
546	職業安定局	障害者等の職業相談経費	事業は引き続き適正に執行すること。（横田 響子）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
547	職業安定局	障害者雇用状況等の調査	今後も適切な予算見積もり、着実な執行をお願いしたい。（井出 健二郎）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
549	職業安定局	長期失業者等支援事業	平成22年度廃止事業の平成32年度までの経過措置として引き続き適切に執行すること。毎年結果として執行率が低く留まっており、労働環境、経済環境に左右されるため仕方ない面もあるが、積算の精度を上げる余地がないか、今一度確認すること。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	縮減	過年度の事業の執行状況等を精査し、必要と認められる予算額を計上する。	▲4
572	職業安定局	障害者テレワーク（在宅勤務）導入のための総合支援事業	引き続き効率的な執行に努めること。(長崎 武彦)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成29年度をもって終了すること。	予定通り終了	一定の成果が得られたことから事業終了とする。	-
573	職業安定局	医療機関と連携した精神障害者の就労支援事業	精神障害者を対象とした就労支援事業で28年度より予算化されたが、公的分野が取り組むべき問題であり、現状維持としたい。(増田 正志)	事業内容の一部改善	活動実績が低調に推移している要因を分析し、事業の適正な執行を図ること。また、一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	年度内に改善を検討	年度途中に随時活動実績の把握を行い、各労働局に指導を行うと共に事業の適正な執行に努める。また、一者応札となった医療機関に対する就労支援プログラムのノウハウ普及・導入支援事業は、予定した成果を29年度事業で達成する予定であることから、30年度は要求しない。	-
582	人材開発統括官	離職者等の再就職に資する総合的な職業能力開発プログラムの推進	執行率が低調ながら平成29年度増額要求となっている背景、また関連事業として離職者向けにとどまらず、中小企業の従業員向け研修を執行する事業を追記すること。平成13スタートより年月が経ち事業目的と実施内容がアンマッチになっていないか。業界の急速な需要増と求人充足率が低い業界に絞った事業実施なのか事業目的を明確にし、関連事業との連携を図ることも視野に入れ、効果的・効率的な事業運営につなげる検討をすべきである。(横田 響子)	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、雇用失業情勢の動向や訓練実績等を踏まえた訓練計画数の調整を行い、真に必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	縮減	現下の雇用失業情勢の動向を踏まえるとともに、政府方針である働き方改革関連施策の実施に要する訓練規模を概算要求に反映した。	▲2,172
588	人材開発統括官	キャリア形成促進助成金	執行率の向上にはつとめていただきたい。助成した結果の効果・成果検証も必要ではないか。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、事業効果の大きいメニューに重点化すること。事業の効果測定を適切に行えるよう、アンケート以外のより客観的な新たな成果指標を設定すること。	年度内に改善を検討	所見を踏まえ、平成30年度概算要求においては、人材育成制度導入コースを廃止するなどして、事業効果の大きいメニューに重点化させることとしている。また、事業の効果測定を適切に行えるよう、客観的な新たな成果指標を年度内に検討する。	-
590	人材開発統括官	都道府県立職業能力開発施設の運営費交付金(職業転換訓練費交付金・離職者等職業訓練費交付金)	執行率は100%近くで推移しているものの、アウトプットである訓練受講者数は当初見込みの7割強の7.3万人で横這いで推移していることから、職業能力開発校の運営が当初見込で硬直化していないか、訓練者数の実績を踏まえた運営の効率化の余地がないか点検しつつ、適正な執行に努めること。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	訓練受講者数等の活動実績を踏まえ、積算を見直し、真に必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	職業能力開発校の運営に要する経費の大半は都道府県が負担しており、当該交付金は、その運営に要する経費の一部を交付しているものであり、適正に執行している。雇用失業情勢の改善により、受講者数の計画と実績に乖離が生じているが、計画は各都道府県にて職業訓練の受講機会を一定程度確保する必要もあるため差が生じ得るものと考えており、今後とも実績を踏まえつつ効率的な運営が図られるよう助言指導するとともに、引き続き適切な執行に努めてまいりたい。	-
591	人材開発統括官	技能検定等の実施	技能検定内容の見直しを行い、適正な事業実施が求められる。(長崎 武彦)	現状通り	技能検定内容の見直しを必要に応じて行い、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	技能検定制度の着実な実施に加えて、人材ニーズを踏まえた職種・作業の見直しを適切に実施するため、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。また、若者に対する受検料の減免措置を引き続き講ずるとともに、都道府県における試験実施体制の現状等を調査した上で、連絡協議会において当該制度の効果的・効率的な実施方法を検討するため、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
592	人材開発統括官	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構職業能力開発助成金	職業能力開発基本計画に基づいて、独立行政法人への運営費交付金の支出事業であり、訓練施設を以って求職者の職業能力の開発等により就職支援を行うものである。現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、機構の中期計画等に沿った適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、中期計画等に沿った適正な執行に努めてまいりたい。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
607	人材開発統括官	職業転換訓練費負担金	引き続き、適正に事業執行に努めること。(横田 響子) (平成28年度単位当たりコストの執行額を実績額に修正すること)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
610	人材開発統括官	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構障害者職業能力開発助定運営費交付金	今後も適切な予算見積もり、着実な執行をお願いしたい。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
626	雇用環境・均等局	職務分析・職務評価普及事業	平成28年度に開始された事業で、パートタイム労働者と正社員の均等・均衡待遇の実現という事業目的の重要性は理解するが、事業内容である「職務分析・職務評価」の導入の有効性、コンサルティングのための訪問企業200社選定の合理性があるか検証しつつ、適正な執行に努めて頂きたい。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	執行等改善	活動指標の訪問企業数について検証を行い、250社とした。	-
627	雇用環境・均等局	両立支援等助成金（出生時両立支援コース）	平成28年度より開始した事業であり、周知を図る等事業実施環境を整備して継続することが求められる。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	男性育児休業取得の継続・定着を図るとともに、男性の育児参加に資する育児目的休暇の導入を支援するため、助成金の拡充を図ることとした。	-
628	雇用環境・均等局	介護支援取組助成金	平成28年度のみ事業であり、平成29年度以降は予算化されていないため、論評を差し控える。(増田 正志)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
629	雇用環境・均等局	中小企業のための女性活躍推進事業	アウトカム・アウトプットの見直しが必要。 本年度行政事業レビュー公開プロセスを実施した女性活躍加速化における助成金にて指摘を行っているが、中小企業の行動計画提出数についても中長期的目標設定の検討が必要。従業員50名以上301名以下などターゲットと提出率・数目標を明確にし、効率的・効果的の事業運営を行う必要がある。 相談・訪問件数、説明会開催数と参加人数など、事業実施上のアウトプットを追記し、単位当たりコストの算出をしていただきたい。また助成金事業との連携も図ること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	より適切な活動指標を設定すること。	執行等改善	活動指標については、事業実施に係る女性活躍推進法に基づく行動計画策定等説明会の実施回数についての指標を追加し、あわせて単位当たりコストの算出をした。	-
631	雇用環境・均等局	両立支援等助成金（介護離職防止支援コース）	平成28年度の様子は理解できた。走っている今年度の状況を鑑みながら、予算積算していただきたい。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	活動実績を踏まえ、積算を見直し、予算額を縮減すること。	縮減	執行実績を踏まえ、予算規模を縮減する。	▲590
632	子ども家庭局	保育所運営費	平成27年度以降内閣府予算として計上されており、本事業として今後追加交付が見込まれないのであれば、終了年次を明示し今後は終了事業として管理することが望ましい。(栗原 美津枝)	終了予定	事業は当初の予定通り、平成27年度をもって終了すること。	予定通り終了	当事業は平成26年度をもって終了しており、今後は過年度精算交付の必要が生じた場合には、必要額を精査し、予算計上する。	-
636	子ども家庭局	幼児教育・保育国際調査分担金	継続して効率的な実施が必要である。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	政策立案に有効な国際調査の実施を図るべく、引き続き参加国会合への出席や調査項目等の協議を行うなどを通じて、事業を効率的に実施していく。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
643	子ども家庭局	過誤納抛出金の払戻し等に必要な経費	過誤納抛出金の還付財源を措置するもので、現所維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	平成30年度においても、引き続き必要な予算を確保するとともに、適切な執行に努めて参りたい。	-
644	子ども家庭局	放課後児童クラブ入退室管理モデル事業	平成28年度終了モデル事業。 モデル事業として補助対象となる児童クラブの児童数および単位当たりコストを把握し、今後の補助を行う上でシステム開発のコストの参考とすること。(横田 響子)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。	予定通り終了	平成28年度補正予算において措置された事業であり、平成28年度で終了の事業である。	-
645	子ども家庭局	社会福祉施設等設備災害復旧費補助金	自治体と連携し、有効な執行となるように努めていただきたい。(井出 健二郎)	現状通り	復旧が図られるよう、引き続き、自治体や関係機関と連携して、本事業の着実な実施を図ること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
658	子ども家庭局	里親制度広報啓発事業	公募により補助先として複数の応募があった旨点検されており、支払先リストの入社数(公募者数)欄にも何社応募があったか記載し説明することが望ましい。 平成31年度に22%を達成する目標があることから、毎年度達成率を確認しつつ、引き続き効果的な事業となるよう努めること。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
659	子ども家庭局	社会福祉施設等災害復旧費補助金	速やかな復旧事業の遂行が求められる。(長崎 武彦)	現状通り	復旧が図られるよう、引き続き、自治体や関係機関と連携して、本事業の着実な実施を図ること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
660	子ども家庭局	児童保護災害臨時特例補助金	熊本地震に対応した補助金であり、28年度限りの事業なので、論評を差し控える。(増田 正志)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は修了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
663	子ども家庭局	妊娠・出産包括支援事業	相談件数推移や、産後うつが発生率についても把握を行い、事業の有効性を確認する必要がある。 また予算増額の方、不用額が多い。増額理由の記載と積算根拠の見直しを行い、適正な事業執行のため各事業の執行額とアウトプットを記載すること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に行えるよう実態を把握し、より適切な活動指標を設定すること。また、執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	縮減	1市町村当たりの所要額を一律から人口規模に応じた積算に変更し、積算根拠の見直しを行った。	▲1,886
681-1	社会・援護局(社会)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(うち生活困窮者就労準備支援等事業)	執行額137億円が予算423億円の内数になっており、予算に対する適切な執行状況について確認ができない。金額も大きいことから、全体予算のうち本事業が対象とする3事業に係る予算額を把握し、執行状況を確認することが望ましい。 3事業に適したアウトカムの再設定(学習支援事業に係るアウトカムは評価できる)、アウトプットの一部見直し(実施自治体数ではなく支援対象者数ではないか)を行い、活動状況および成果を評価すべきではないか。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	各事業に係る予算額及び執行状況を把握するとともに、事業に適したアウトカムの再設定、アウトプットの一部見直しを行い、活動状況および成果等の事業評価をすべき。	年度内に改善を検討	所見を踏まえ、平成30年度行政レビューシート作成に向け、必要な見直し等について検討する。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
681-3	社会・援護局(社会)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(うち生活保護適正化等事業)	事業内容を明確にした上で、各々の予算額と執行額を把握、管理する必要がある。執行額128億円が予算423億円の内数になっており、執行状況について確認ができない。金額も大きいことから、全体予算のうち本事業が対象とする3事業に係る予算額を把握し直し、執行状況を確認することが望ましい。(長崎 武彦)	現状通り	各事業の事業内容を明確にした上で、各事業に係る予算額及び執行状況を把握すること。	年度内に改善を検討	各事業について、平成30年度行政レビューシート作成に向け、事業内容が明確になるよう記載方法等を検討するとともに、各事業に係る実績等の把握の仕方を検討する。	-
681-4	社会・援護局(社会)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(うち社会福祉法人経営労務管理改善支援事業等)	アウトカムの成果実績の把握が難しく、実効性が乏しい事業であり、28年度限りの事業とされているので、当レビューでの評価はしない。(増田 正志)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了したが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
687	社会・援護局(社会)	「福祉のまちづくり!アワード」選考・開催委託費	好事例の発信が的確になされていくかがポイント。事例集の配布数、ホームページの閲覧件数、シンポジウムの参加人数など追加し、事業の有効性を示すこと。また引き続き競争性を保った入札を行うこと。(横田 響子)	現状通り	事例集の配布など事業の有効性を明らかにすること。引き続き競争性を保った入札など適正な執行に努めること。	現状通り	事業の有効性を把握するために、「活動指標及び活動実績(アウトプット)」を「シンポジウムの参加者数」および「事例集の配布数」に修正した。引き続き、競争性を保った入札など適正な執行に努める。	-
688	社会・援護局(社会)	地域福祉活動支援事業費	今後も適切な予算見積もり、着実な執行をお願いしたい。ただ、開始年度を勘案すると、一度立ち止まり精査することも必要である。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保するとともに、適正な執行に努めること。また、事業開始年度を踏まえ、必要に応じて、事業内容、成果等の検証を検討すること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保するとともに、適正な執行に努める。事業内容および成果等の検証については、必要に応じて検討する。	-
689	障害保健福祉部	就労系施設生産活動推進事業	展示販売以外は活動実績が少なく(商品開発援助事業等の開催数5回等)、本事業が有効に機能しているか検証が必要。少ないニーズに適切に答えている事業なのか、それとも予算制約からニーズに答え切れていないか、適切な事業規模となっているか検証し、効果的な執行を実施していただきたい。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	適切な事業規模となっているか検証し、効果的な執行に努めること。	現状通り	今後も効果を検証し、効果的な執行に努めていく。	-
694	社会・援護局(社会)	社会福祉事業施設等貸付事業利子補給金	利子補給する元本を厳格に精査したうえでの事業実施が求められる。(長崎 武彦)	現状通り	利子補給を行う元本(貸付金)についても適正に精査すること。	縮減	直近の財政融資資金の低金利化の状況・実績を踏まえ、要求額の精査を行った結果、利子補給金についても要求額が▲1百万円となった。	▲1
697	社会・援護局(社会)	社会事業大学経営等委託費	アウトカムの就職人数に%、合格率の推移を一般の2倍であることも含め、記載をアウトプットとして追加検討すること。引き続き、適正に事業執行に努めること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	就職者数、社会福祉士国家試験の合格率等を踏まえ、アウトプットの設定を検討すること。	年度内に改善を検討	所見を踏まえ、平成30年度行政レビューシート作成時までにアウトプットの在り方について検討する。	-
698	社会・援護局(社会)	社会福祉職員研修センター経営委託費	今後も適切な予算見積もり、着実な執行をお願いしたい。ただ、開始年度からすると、研修内容、成果等を検証することも必要ではないか。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保するとともに、適正な執行に努めること。また、事業開始年度を踏まえ、必要に応じて、事業内容、成果等の検証を検討すること。	現状通り	必要に応じて、事業内容・成果等の検証を検討する。	-
709	社会・援護局(援護)	戦傷病者福祉事業	予算通り執行され、運営の委託先も4社により企画競争が行われて競争環境も確保されている。引き続き適切な執行に努めること。なお、アウトカムについて、来館小中学校数を評価しているが、政策評価と同様来場者数で評価すればよいのではないか。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。また、アウトカムの設定について検討を図ること。	現状通り	アウトカムの設定については、指摘を踏まえ政策評価と同様、来場者数で評価することとした。	-



レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
711	社会・援護局（援護）	海外未送還遺骨情報収集事業	引き続き適切な事業実施が求められる。（長崎 武彦）	事業内容の一部改善	不用額については、要因を分析し必要に応じて予算に反映させること。その上で、執行率の改善を図ること。	年度内に改善を検討	不用の要因については、一部地域で相手国の都合により事業が実施できなかったことによるが、今後も相手国との協議に努め、適正な執行と計画的な事業実施に努める。	-
713	社会・援護局（援護）	遺骨伝達等事業	戦没者の遺族も高齢化が進み、DNA鑑定による身元の特定は年を追って難しくなると思う。アウトカムの達成度が低下してきており、何れかの時期に当該事業を見直すべき。（増田 正志）	事業内容の一部改善	成果実績が低調に推移している要因を分析するとともに、今後何れかの時期に事業の見直しを検討すること。	年度内に改善を検討	一柱でも多くの遺骨を遺族へ返すため、平成29年4月から、歯に加えて四肢骨もDNA鑑定の対象とした。また、今年度から、広報等により、遺族に対するDNA鑑定の呼びかけ範囲を拡大することとした。これらを踏まえ、今後も引き続き、必要な経費を精査し、適切に事業を実施していくこととする。	-
715	社会・援護局（援護）	慰霊友好親善事業	引き続き、適正に事業執行に努めること。（横田 響子）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、適正な執行等に努めてまいりたい。	-
717	社会・援護局（援護）	民間建立慰霊碑等管理促進事業	平成28年度の執行率の低調さは理解できた。使途Aについてはこれまでの応札状況を勘案しながら、公募などの契約方式を勘案し、価格交渉する余地もあるのではないかと。（井出 健二郎）	事業内容の一部改善	事業の早期執行に努めること。また、民間建立慰霊碑等整理事業（海外）及び調査事業（国内）については、価格交渉の余地がないか検討すること。	年度内に改善を検討	海外民間建立慰霊碑移設等事業については、これまでの応札状況を勘案し、平成29年度から公募による契約方式を採用している。引き続き必要な経費を精査し適切に当該事業を実施していくこととする。	-
726	障害保健福祉部	障害保健福祉制度普及関係経費等	平成29年度に施行状況を踏まえ予算額を見直した所であり、引き続き適切な施行に努めること。 なお、アウトカムに執行率の向上を掲げているが、執行率120%の場合（執行額が予算額を上回る場合）、達成率120%と評価するのは適当ではなく、過不足いずれの場合も乖離率等で評価するのが適当と思われる。（栗原 美津枝）	事業内容の一部改善	執行額が当初予算額を上回っているため、予算額に見合った事業内容に見直すこと。	現状通り	他レビューとの関連で、28年度執行額を見直した結果、予算の範囲内での執行であったため金額を修正した。今後とも必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
727	障害保健福祉部	精神障害者社会復帰調査研究等事業	引き続き効率的な執行に努めること。（長崎 武彦）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
733	障害保健福祉部	障害児施設措置・給付	障害児に対する施策として必要な事業であり、執行率、アウトカムの達成率も高く、評価でき、現状維持としたい。（増田 正志）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
734	障害保健福祉部	児童福祉事業助成	活動内容は活発で利用がなされているようだが、事業内容と貢献度が分かりづらい。 研修実施内容に関する補足をお願いしたい。相談者満足度アンケート結果があれば、事業の有効性を図る指標として追記すること。（横田 響子）	事業内容の一部改善	成果指標の設定について検討を図ること。	現状通り	成果指標の設定について検討する。	-
744	障害保健福祉部	精神障害者保健福祉対策	今後も適切な予算見積もり、着実な執行をお願いしたい。（井出 健二郎）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
748	障害保健福祉部	心神喪失者等医療観察法人材養成研修	予算額の見直しにより執行率は改善している。精神保健判定医等養成研修の単価が上昇傾向にあり、本事業の委託先の応募は1者に限られていることから、単価が上がる要因が何か、効率的な研修が行われているかを確認し、適切な予算執行に努めること。（栗原 美津枝）	事業内容の一部改善	精神保健判定医等養成研修に係る単位当たりコスト上昇の要因を分析するとともに、効率的な研修が行われているかを確認し、適切な予算執行に努めること。	現状通り	コスト上昇の要因は、参加人数の増減によるものと考えられるため、参加人数が増えるように努める。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
752	障害保健福祉部	国立更生援護施設運営事業	過去の高い執行実績から判断して有用な事業であると思料される。引き続き適切な執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。	-
764	障害保健福祉部	障害児・者に対する相談支援の充実に係るシステム改修等	平成28年度までに比べ、平成29年度の予算額が9倍程になっており、事業の規模及び内容が異なるものと考えられる。今後の同事業の展開を見守りたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
765	障害保健福祉部	生活のしづらさなどに関する調査費	改善の方向性と文面が一致していない。定期的調査であれば、その旨を記載し各実施時の効率性を経年で図ることができる数値記載を行うこと。アウトプットとして調査地区に加え、調査票配布数もしくは回答数(率)の追加をすること。(横田 響子)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成29年度をもって終了すること。	予定通り終了	平成29年度をもって終了する。	-
766	社会・援護局(社会)	自殺対策推進経費	執行率の低調さは、競争入札の落札の結果ともいえるが、他の要因についても検討していただきたい。(井出 健二郎)	現状通り	執行率の低さについて、競争入札の落札結果のほか要因がないか検証すること。	現状通り	競争入札以外による執行率が低い要因がないかについては、引き続き検証を行っていく。	-
767	社会・援護局(社会)	地域自殺対策強化事業(地域自殺対策強化交付金)	平成26年度の開始以降、予算と執行額の乖離が改善されていない。執行額および活動実績が横這いで推移している実態を踏まえ、活動指標の見込みおよび予算額の見積りの精度を上げ、より適切な執行に努めること。地域の年による活動に差があることは理解するが、1つの市町村の支出額が突出している点はその要因を確認する必要がある。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	予算額と執行額の乖離について、事業の実施状況を踏まえ、活動指標の見込みおよび予算額の見積りの精度を上げ、より適切な執行に努めること。また、地域による活動について、大きな差がある場合には、その原因について検証すること。	執行等改善	平成29年7月に閣議決定された新たな自殺総合対策大綱を踏まえ、地域の実情に応じた効果的な自殺対策を強力に推進できるよう見直しを行い、平成30年度要求額に反映させた。地域による活動に大きな差がある場合はその原因を検証するなどし、引き続き、事業の適正な執行に努めたい。	-
768	障害保健福祉部	障害福祉サービス等災害臨時特例補助金	平成28年度で事業は終了している。(長崎 武彦)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。	予定通り終了	平成28年度をもって終了する。	-
769	障害保健福祉部	社会福祉施設等設備災害復旧費補助金	熊本地震の復旧対策費の財源措置事業であり、平成28年度の未執行額を平成29年度に繰り越しているもので、平成29年度の執行を見守りたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き早期執行に努めること。	現状通り	引き続き、適正な執行に努める。	-
774	年金局(総務課)	国民年金給付に必要な経費	過去、行政事業レビュー等の通り、持続可能な年金制度の在り方を抜本的に見直すとともに、検討の必要はあるが、足元の事業について適正に事業執行を行うこと。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行を行うこと。	現状通り	今後も適切な予算額の確保と執行に努める。	-
775	年金局(総務課)	保険給付に必要な経費(年金特別会計厚生年金勘定)	今後も適切な予算見積もり、着実な執行をお願いしたい。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行を行うこと。	現状通り	今後も適切な予算額の確保と執行に努める。	-
776	年金局(総務課)	存続厚生年金基金等給付費等負担金に必要な経費	着実な交付が求められる事業ではあるものの、不用額の規模が毎年度数百億円と大きいことから、執行実績を踏まえた適切な予算額に見直すこと。そのような中、平成29年度の予算額が1千億円増額されており、レビューとしてその必要性を説明することが望ましい。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	必要な予算額を確保し、適正な執行を行うこと。執行実績で大きく不用があるが、平成29年度の予算額が増額されていることについて説明願う。	年度内に改善を検討	平成29年度においては、存続厚生年金基金等が保有する責任準備金相当額の見込み等に基づき予算を積算した結果、増額となったものである。今後も給付費負担金等の支払いに支障をきたさぬように、支払実績等を踏まえて必要な予算額を確保するとともに適正な執行を行うなどの取組を進める。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
782	年金局 (事業企画課)	日本年金機構運営費交付金	引き続き効率的な執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
783	年金局 (事業企画課)	日本年金機構事業運営費交付金	年金制度の運営にかかる経費であり、必須な事業と考える。執行率100%であるため、現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
787	年金局 (総務課)	企業年金等の健全な育成に必要な経費	引き続き、適正な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	企業年金統計情報集計に係る経費について、引き続き単位当たりのコストが適正であるかの確認を行っていくこととする。	-
788	年金局 (総務課)	①国民年金基金等給付費負担金 ②存続厚生年金基金等未納掛金等交付金	今後も適切な予算見積もり、着実な執行をお願いしたい。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	①国民年金基金等給付費負担金 引き続き、実績報告等から請求額が適正であるかの確認を行っていく。 ②存続厚生年金基金等未納掛金等交付金 引き続き、実績報告等から請求額が適正であるかの確認を行っていく。	-
789	年金局 (総務課)	国民年金基金連合会事務費補助金	制度拡充に伴う時限を決めた普及事業であり、執行率は高く、随意契約も複数応募となっていることから、適切に執行されている。予定通り平成29年度に事業を終了し、今後は適切に制度の運営を行って頂きたい。(栗原 美津枝)	終了予定	当該事業は、当初の目的を達成する平成29年度の執行をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
795-1	老健局	介護給付適正化事業等	引き続き適切な執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めていく。	-
797	老健局	介護保険施行企画指導費等	介護事業者の登録情報の管理を目的とした事業であり、今後の高齢化の進捗に対処するために必要であると考え。執行率及びアウトカムの達成率も高く、現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、アウトカムの達成を目指すとともに、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、適正な執行に努めていく。	-
799	老健局	地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金	改善案の通り、整備施設の利用状況とサービス需要見込み調査を精査の上、適正な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	整備施設の利用状況とサービス需要見込み調査などを踏まえ、適正な事業執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めていく。	-
804	老健局	国民健康保険中央会施行経費等 (項)介護保険制度運営推進費)	使途Cについては妥当と理解しているが、1者応札の改善を検討してほしい。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	入札にあたり、1者応札があることなど、支出先の選定について問題がないか検証されたい。	現状通り	今後の改善策として、中央会において、入札公告実施時の申込希望業者に対しマニュアル閲覧等により業務内容確認の機会を設けるとともに、入札公告の周知について、中央会ホームページでの掲載に加え、業界団体(JAHIS)に対し、会員企業への情報提供を依頼することとする。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
805	老健局	介護保険関係業務費補助金	平成28年度および平成29年度に予算が増額された理由を明記し、妥当性を説明すること。実際の予算管理において、一時的なシステム改修費と経常的なシステム運用費を分けて管理し、予算の増減を適切に管理して頂きたい。(栗原 美津枝)	現状通り	平成28年度および平成29年度に予算が増額された理由を明記し、妥当性を説明すること。実際の予算管理においても、一時的なシステム改修費と経常的なシステム運用費を分けて管理するなど、適正な執行管理に努めること。	現状通り	「点検結果」欄に平成28年度と平成29年度の予算が同額となっている理由を記載した。なお、システム改修経費と経常的なシステム運用経費は、従前より区分して管理している。	-
810	保険局	熊本地震にかかる保険者への財政支援（介護2号保険料分）	平成28年度にて終了する事業である。(長崎 武彦)	終了予定	当該事業は被災地への助成事業として一定の成果を達成しており、今後の終了時期については、適切な判断により決定していただきたい。	予定通り終了	平成28年度限りで終了したが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
811	老健局	介護報酬改定等に伴うシステム改修経費	介護報酬支払いに係るシステム対応の事業であり、必須の事業である。システム構築への対応予算であり、現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めていく。	-
813	老健局	社会福祉施設災害復旧費補助金	単位当たりコストの単位記載ミスがある、修正をすること。災害による復旧が必要な施設に対し、適切かつ速やかに執行を行うこと。(横田 響子)	現状通り	必要な施設等に対して、適正かつ速やかな執行を行うこと。	現状通り	引き続き、適正かつ速やかな執行に努めていく。	-
816	老健局	財政安定化基金への特例的積増し	平成28年度の状況は理解したが、走っている今年度の事業の状況を勘案しながら、予算積算していただきたい。(井出 健二郎)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成した場合、平成29年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが得られた知見は他の事業にも活用する。	-
817	老健局	熊本地震の被災地における介護保険利用料・保険料減免に対する財政支援	熊本地震の被災地における措置として平成28年度に実施された事業であり、100%の執行率、他の関連制度との役割分担も確認されており、適切に執行された。(栗原 美津枝)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
823	老健局	経済協力開発機構等拠出金（アジア健康構想サポート事業）	平成28年度限りの事業である。(長崎 武彦)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成28年度をもって終了すること。	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
824	健康局	たばこ規制枠組条約締約国会議事務局分担金	喫煙に対する規制に関するWHOへの負担金を手当てしている事業であり、現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約に基づく必要な分担金であることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
825	医薬・生活衛生局（生食）	国際水協会・水供給に関する運用と管理ネットワーク拠出金	予算減額理由の記載をすること。引き続き適正に事業を執行すること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	事業の見直しに伴い、平成29年度予算は減額している。引き続き、必要な予算額を確保するとともに、適切な執行に努める。	-
831	大臣官房（国際課）	アジア開発途上国雇用労働支援事業費	今後も適切な予算見積り、着実な執行をお願いしたい。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
832	人材開発統括官	技能実習制度推進事業	概ね適切に執行されていたが、委託先選定については、競争環境の改善を図ったものの、依然として1者応札、1者応募が続いていた。但し、平成29年度で事業は終了するため、今後は、新たな法律と実施主体の下で新制度が効率的に運用されるよう、本事業のノウハウの適切な共有を期待する。(栗原 美津枝)	終了予定	事業は当初の予定とおりの成果を達成したため、平成29年度をもって終了すること。	予定通り終了	本事業は平成29年度をもって終了することとする。	-
696	社会・援護局(社会)	外国人看護師・介護福祉士受入支援事業	アウトカムの目標値をクリアしており、事業目的を達成していると認め、現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	EPAに基づく外国人介護福祉士等の養成に資するため、引き続き、適正な予算の執行、事業目的の達成を目指すこと。	現状通り	引き続き、適正な予算の執行、事業目的の達成を目指す。	-
834	試験研究機関	国立医薬品食品衛生研究所基盤的研究費	競争性確保に一層の努力が求められる。(長崎 武彦)	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	執行等改善	次回以降、一般競争契約を実施する際は類似契約業者への声掛けや公告期間を十分に確保する等、一者応札の改善方を講ずることとしたい。	-
848	試験研究機関	国立保健医療科学院共通経費	医療分野に於ける地公体職員に必要な養成訓練を実施する事業であり、執行率も高く、現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
851	試験研究機関	研究研修棟施設管理等事務経費	入札における競争性を引き続き確保し、適切な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	国立保健医療科学院の研究研修棟及び研究機器の維持管理のため必要な事業である。必要な予算を確保し、入札における競争性を引き続き確保の上、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
854	試験研究機関	国立社会保障・人口問題研究所運営経費	基本的には問題ないが、印刷関係は、一括調達し、競争性を高める余地はないのか。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	国立社会保障・人口問題研究所の運営に必要な経費であるため、引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。印刷関係経費については、競争性のある契約方式へ移行する余地がないか検討すること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。なお、印刷関係経費についても、見積合わせにより競争性を確保している。	-
855	試験研究機関	国立社会保障・人口問題研究所基盤的研究費	本事業の重要性は認識するが、想定される活動数が変わらない中で、研究補助員の採用によると思われる予算の増加(2百万円→10百万円)についてレビューすべきである。また、関連事業の当研究所の運営経費との役割分担が分かりづらいので、説明を改善して頂きたい。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	研究補助員の採用によると思われる予算の増加(2百万円→10百万円)について、その理由を「主な増減理由」欄に記載すること。運営経費との役割分担をより明確にすること。	現状通り	人口推計等の外部からの問い合わせ対応、ホームページ運営、社会保障費用統計や全国調査の集計補助業務といった研究員の業務負担軽減のため、平成29年度より研究補助員の採用をしたところである。運営経費については機関誌の発行を主な業務としているが、本事業は研究全体の基盤となる基礎的研究を行っているものである。引き続き必要な予算を確保し適正な執行に努めていきたい。	-
856	試験研究機関	研究調査経費(社会保障・人口問題基本調査)	調査方法を工夫することにより、効率的な執行に努めること。(長崎 武彦)	事業内容の一部改善	よりコストの低い他の調査方法に移行する等調査方法を工夫することにより、執行率の改善を図ること。	年度内に改善を検討	低コストかつ効率的な調査方法について、オンライン回答の実施等を含め検討してまいりたい。	-
857	試験研究機関	研究調査経費(社会保障・人口問題基本調査による分析モデル開発)	社会保障・人口問題に係る調査によって得たデータの分析業務であり、現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
858	試験研究機関	研究調査経費（社会保障・人口問題基本調査の事後事例調査）	引き続き、適正かつ効率的な事業執行に努めること。（横田 響子）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
859	試験研究機関	社会保障情報・調査研究費	今後も適切な予算見積もり、着実な執行をお願いしたい。（井出 健二郎）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
860	試験研究機関	研究成果の普及等に要する経費	国立社会保障・人口問題研究所の事業であり、事業番号855と同様に当研究所の運営経費との役割分担を説明すべきである。但し、本事業は特定の活動に限定されているため、切り分けの説明は容易と思われる。引き続き、関連事業との役割分担を行いつつ適切な執行に努めること。（栗原 美津枝）	事業内容の一部改善	社会保障及び人口問題研究の普及・発展に必要な事業である。運営経費との役割分担を明確にしつつ、引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。なお、運営経費については、機関誌の発行を主な業務としているが、本事業は厚生政策セミナーの開催及び研究成果の公表に関する事業等を行っているものである。	-
861	試験研究機関	国立感染症研究所共通経費	引き続き効率的な予算執行に努めること。（長崎 武彦）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
862	試験研究機関	国立感染症研究所運営経費	国立感染症研究所の研究基盤を整備する事業であり、現状維持としたい。（増田 正志）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
863	試験研究機関	国立感染症研究所基盤的研究費	一般競争契約は行われているが、落札率は高止まりしている。入札における競争性を確保し、適正な事業執行に努めること。（横田 響子）	事業内容の一部改善	一般競争契約は行われているものの、落札率は高止まりしているため、その要因を分析し、改善を図ること。	年度内に改善を検討	落札率の高止まりを改善するため、3庁舎による公告、類似契約業者への声掛け、公告期間の延長、入札要件の緩和等を実施するとともに、入札説明会に参加した者が応札しなかった者がいた場合にはヒアリングを行い、その要因を分析し、改善点を検討することにより、引き続き競争性の確保に取組み、適正な事業執行に努めてまいりたい。	-
865	試験研究機関	国立感染症研究所施設管理事務経費	基本的に問題はないが、一括調達し、競争性を高める余地もあるのではないか。（井出 健二郎）	現状通り	村山庁舎における施設整備の維持管理及び効率的な運営に必要な経費であるため、引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。一括調達など競争性のある契約方式へ移行することを検討すること	年度内に改善を検討	競争性を高める観点から、一括調達が可能な事業がないか改めて検討してまいりたい。	-
867	試験研究機関	戸山庁舎関係経費	毎年経常的に発生する維持管理事業であり、執行率も高く、また一般競争入札も多く採用され1者応札を改善すべく周知等の努力もされており、適切に施行されている。引き続き適切な執行に努めること。（栗原 美津枝）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
869	試験研究機関	ハンセン病研究センター経費	引き続き適切な予算執行に努めること。（長崎 武彦）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
872	試験研究機関	国立感染症研究所競争的研究事務経費	国立感染症研究所の経理を適正化するための事務経費であり、現状維持としたい。（増田 正志）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
881	試験研究機関	侵襲性真菌症に対する対策事業	検査検体数が100を想定している中、12件にとどまっている。当初100の設定根拠や 検体依頼件数自体など、今後の事業を執行、予算積算の参考となる情報を追記すること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	成果目標の目標値や検定依頼件数の設定根拠等の情報を追記すること。	現状通り	当初の検査検体数の目標は、国内の移植症例数と発症率から100件と設定したところであり、平成28年度においては、一般施設で検査不能な検査依頼が162件あったところである。また、予算の積算及び事業の執行においては、1件あたり15万円程度のコストを見込んでいるところである。当初予算要求時は、依頼予定100件、また器機整備500万を加え、約2000万の事業規模を予定としていたところ、予算規模が縮小され事業が認められたところである。そのため、平成28年度は、全ての依頼を実施することができないため、重篤な真菌症の発生が多い移植医療機関からの要望を優先し、実施可能な12件の検査に対応したところである。	-
883	厚生科学課	厚生労働科学研究費補助金（厚生労働行政推進調査事業費補助金を含む）	採択件数以外の4つ並んでいる活動実績の違いが分からないので、各アウトプットの違いを明確にすることが望ましい。年間600件前後の研究課題の採択により当分野の研究を幅広く支える事業として機能していることは理解できるが、アウトカムの一つである研究成果の活用について、データベースへのアクセスがAMED移管後も年々減少していることから、採択案件の考え方および研究成果の共有・広報等について改善の余地がないか検証しつつ、事業を執行して頂きたい。関連事業に説明がないが、日本学術振興会運営の科学研究費助成事業や科学研究費補助事業(分野を問わないと理解しているが)とどのように役割分担がなされているのか説明して頂きたい。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	成果実績（活動実績）が低調に推移している要因を分析し、執行率の改善を図ること。	執行等改善	活動指標欄に記載した各アウトプットの違いが明確に分かる記載にした。研究成果の活用については、ご指摘を踏まえ、必要な予算額を確保の上、引き続き適正な事業の執行に努めて参りたい。本事業と日本学術振興会運営事業（科学研究費助成事業や科学研究費補助事業）の役割分担については、以下のとおり。日本学術振興会の科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学までのすべての分野にわたる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を幅広く支援することを目的とし、ピア・レビュー（専門分野の近い複数の研究者による審査）により、学術的に優れた独創的・先駆的な研究を採択するのに対し、厚生労働科学研究費補助金（厚生労働行政推進調査事業費補助金を含む）では、国民の保健医療、福祉、生活衛生、労働安全衛生等の課題を解決するための研究を支援することを目的とし、外部の専門家による評価委員会を設置し、行政上の必要性を踏まえた目的指向型の研究課題を採択している。	-
887	試験研究機関	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所施設整備費補助金	平成28年度に執行遅れが生じた原因を十分に検討し、以後の執行に反映すること。(長崎 武彦)	終了予定	平成28年度に執行の遅れが生じた原因を十分に検討し、以後の執行に反映すること。当初予定に対し遅れが生じているため、平成29年度をもって事業を終了できるよう遂行すること。	執行等改善	平成28年度に執行の遅れた原因を充分検討し、29年度をもって事業が終了できるよう努める。	-
891	試験研究機関	国立感染症研究所施設整備経費	1者応札の改善をお願いしたい。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	年度内に改善を検討	一者応札を改善するため、3庁舎による公告、類似契約業者への声掛け、公告期間の延長、入札要件の緩和等を実施するとともに、入札説明会に参加したが応札しなかった者がいた場合にはヒアリングを行い、その改善点を検討することにより、引き続き競争性の確保に取組み、適正な事業執行に努めてまいりたい。	-
893	政策統括官（統計・情報政策担当）	統計調査事務費	統計調査に係る事務費用であり、現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、適正かつ効率的な執行に努めてまいりたい。	-

レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
894	政策統括官(統計・情報政策担当)	疾病死因分類適正化等調査費	入札における一者応札とならぬよう競争性を確保し、適正な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	平成29年度の調達においては、仕様書の表現等をよりわかりやすく修正を行い、過去に仕様書等を受け取りに来た業者や支援業務に実績のある業者に声かけを行った結果、仕様書等の受け取りは5者あり、2者の応札があったところである。引き続き、事業の実施にあたっては、1者応札とならないよう適正な執行に努める。	-
898	政策統括官(統計・情報政策担当)	受療状況調査費	平成29年度や平成30年度を検討するに、平成26年度の状況も知りたかった。平成27年度の状況は把握できた。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	平成30年度は調査未実施であり、入札案件がないことから現状どおりの要求となっている。次回の入札においては、外部有識者からのご指摘を踏まえ、競争性の確保に留意し、適正かつ効率的な実施が可能となるよう概算要求に反映したい。	-
899	政策統括官(統計・情報政策担当)	社会福祉統計調査費	調査客体数は115都道府県等×(6表(月報)×12ヶ月+50表(年度表))=14,030ではないか。調査客体数を正しく見直し、単位当たりコストを再点検すること。 月報と年報について、予算の範囲内で実施されているものの、統計調査については調査対象の網羅性と結果の迅速な公表も成果となる。調査対象となる自治体が網羅されているか、公表時期は年報だけでなく月報も定められた期限内に行われているかについても点検し補足して頂きたい。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	貴見のとおり調査客体数及び単位あたりコストを正しく見直した。 また、調査対象となる自治体については、都道府県・指定都市・中核市が網羅されており、公表時期については、月報も調査実施から2ヶ月後に公表しているため、適正に実施している。	-
906	政策統括官(統計・情報政策担当)	労使関係総合調査費	引き続き効率的な予算執行に努めること。(長崎 武彦)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、適正かつ効率的な執行に努めてまいりたい。	-
908	政策統括官(総合政策担当)	独立行政法人労働政策研究・研修機構運営費	(独法)労働政策研究・研修機構に対する運営費交付金であり、現状維持としたい。(増田 正志)	現状通り	点検結果・改善の方向性に記載のとおり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。	-
911	大臣官房会計課	中央合同庁舎第5号館施設整備等事業	引き続き、適正かつ効率的な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	執行等改善	結果的に一者応札となっているものについては改めて要因の分析を行った上で、次回調達時において、予定価格や公告期間等の必要な見直しを行い、引き続き一者応札の改善に努めることとする。	-
915	政策統括官(統計・情報政策担当)	賃金構造基本統計調査費	不落等の要因分析を行い、今後円滑な調達をお願いしたい。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	今後の事業実施に当たっては、不落等の要因分析を行ったうえで、入札における一者応札とならぬよう競争性の確保に留意するとともに、引き続き適正かつ効率的な実施に努める。	-
919	大臣官房地方課	都道府県労働局等施設整備に必要な経費	恒常的に発生する庁舎等施設整備費事業であり、一般競争入札も多く採用し、適切な施行に努めている。工事の遅れ等による翌年度への繰り越しも多く発生していることから、当初計画の精度向上及び期中の管理を適切に行い、より適切な施行に努めること。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	執行等改善	平成30年度予算の概算要求において、年度中の執行が困難となりうる案件については関係官署と協議の上で計画の見直しを行う等の精査を重ね、当該年度において真に必要な経費を計上したところである。また、工事が計画どおりに完了するよう関係各署と協議の上設計監理及び進捗管理体制を強化することとしている。 なお、上記取り組みにも関わらず、老朽化等による庁舎新築案件等が増加したことから、全体としては増額となっている。	-



レビューシート番号	部局名	事務事業名	外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		反映額
921	社会・援護局(社会)	臨時福祉給付金等給付事業	予算執行が繰り越されたことに伴う広報等業務費は重複支出の恐れがあり、計画的な執行が求められる。実施主体(市町村)との連携を密にして適切な執行が求められる。(長崎武彦)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成した場合、平成29年度をもって終了すること。	予定通り終了	事業は平成29年度をもって終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。	-
923	職業安定局	地域活性化雇用創造プロジェクト	当プロジェクトは平成28年度より事業が開始となったものだが、期間が短く本来の事業執行ができなかった。平成29年度には51億円強の予算が配分されており、この事業の実効性が試されることになり、現状維持として、後年度の評価を受けるのが妥当と判断する。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。	現状通り	平成28年度は実施期間が短期間であり本来の執行ができなかったところであるが、事業が本格実施される平成29年度は、実施地域17府県の事業が円滑に進むようきめ細かに進捗管理を行うとともに、活動実績及び成果実績の達成状況の把握・検証を行うこととする。また、平成30年度概算要求においては、平成28年度実績・平成29年度補助金交付決定の状況を踏まえた上で、事業実施地域数・利子補給金支給件数が増加する見込みであることから、平成29年度より増額して要求した。	-
924	職業安定局	65歳超雇用推進助成金	早期導入インセンティブという意味合いから、事業終了年度の記載をしていただきたい。雇用保険喪失者数割合の把握に加え、助成金受給企業の従業員数・業種分析をあわせて行い、事業の効果的執行に努めていただきたい。(横田 響子)	事業内容の一部改善	活動実績が低調に推移している要因を分析し、事業の適正な執行を図ること。	執行等改善	希望者全員が65歳を超えて働ける制度を設けている企業の割合は8.7%しかない現状(平成28年度「高齢者の雇用状況」集計結果)を踏まえ、現時点においては予め事業終了年度を設定することは困難であるが、助成金受給企業の分析結果を踏まえ、65歳超継続雇用促進コースについては申請事業主が雇用する高齢者の人数など取組の困難度・影響度に応じた支給単価とする制度改正を平成29年5月1日に実施しているところである。なお、活動実績については、平成28年度は低調であったものの、支給の前提となる支給申請件数は増加傾向にある。	-